

一般社団法人日本育種学会 第148回講演会プログラム
2025年秋季 北海道大学(札幌コンベンションセンター)

9月10日 (水)	午前	受付 8:15開始(札幌コンベンションセンター1F)																					
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場															
		中ホール	104・105	107	204	206	207	201・202															
		ゲノム解析・ゲノム育種	発生・生理	遺伝子機能	育種法・育種技術	抵抗性・耐性	増殖・生殖	収量・品質 701 9:00-9:15															
		101-109 9:00-11:15	201-211 9:00-11:45	301-311 9:00-11:45	401-411 9:00-11:45	501-511 9:00-11:45	601-608 9:00-11:00	品種育成・ 遺伝資源 702-711 9:15-11:45															
						収量・品質 609-611 11:00-11:45																	
	午後	○株式会社ジーンベイ ランチタイムセミナー 12:00-12:50(会場:中ホール) 「悪いことは言わん。リファレンスは2つ以上作っとけ。」 講演演者:内藤 健(農研機構 遺伝資源研究センター) 講演演者:上村 泰央(株式会社ジーンベイ)																					
		第66回シンポジウム(シンポジウム・ワークショップ) 13:10-17:25																					
		○シンポジウム 13:10-17:25 第1会場 中ホール S01 気候変動に打ち克つ育種戦略 主任:辻本壽																					
		○ワークショップ 13:10-17:25 W01 育種 × オミクス 主任:宇賀優作・師田郷太 W02 自殖性作物におけるハイブリッド育種の可能性について考える 主任:久保山勉 W03 アブラナ科育種の現場知と技術 ― 実践者によるノウハウ共有 主任:高木宏樹・北柴大泰 W04 データ解析の「落とし穴」～あなたのその解析、大丈夫ですか?～ 主任:濱崎甲資・南川舞 W05 “病原菌”と“宿主”、“植物病理学”と“育種学”、相互作用が生み出す新しい抵抗性育種 Part II 主任:清水元樹・門田有希 W06 若手研究者による農学的興味の広げ合い第4回 主任:山森晃一・古村翔也																					
＜ワークショップ タイムテーブル＞ <table><tr><td rowspan="4">時 間</td><td>会 場</td><td>第4会場</td><td>第5会場</td><td>第6会場</td></tr><tr><td></td><td>204</td><td>206</td><td>207</td></tr><tr><td>13:10-15:10</td><td>W05</td><td>W01</td><td>W03</td></tr><tr><td>15:25-17:25</td><td>W06</td><td>W02</td><td>W04</td></tr></table>							時 間	会 場	第4会場	第5会場	第6会場		204	206	207	13:10-15:10	W05	W01	W03	15:25-17:25	W06	W02	W04
時 間	会 場	第4会場	第5会場	第6会場																			
		204	206	207																			
	13:10-15:10	W05	W01	W03																			
	15:25-17:25	W06	W02	W04																			
懇親会 19:00-21:00(札幌グランドホテル)																							
9月11日 (木)	午前	受付 9:00開始(札幌コンベンションセンター1F)																					
		ゲノム解析・ゲノム育種	発生・生理	遺伝子機能	育種法・育種技術	抵抗性・耐性	収量・品質	品種育成・遺伝資源															
		112-123 9:30-12:30	212-224 9:30-12:45	312-324 9:30-12:45	412-419 9:30-11:30	512-519 9:30-11:30	612-619 9:30-11:30	712-719 9:30-11:30															
	午後	○ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進委員会 主催 ランチタイムセミナー 12:50-13:50(会場:中ホール) 後援:男女共同参画学協会連絡会 テーマ:「“当たり前”を見直す旅へ:海外で“マイノリティ”を経験する意義」 話題提供者: 師田 郷太(東京大学)																					
		ポスター発表 14:00-16:00(大ホール) 奇数番号 14:00-15:00 偶数番号 15:00-16:00																					
		市民公開シンポジウム 18:00-20:00(札幌時計台ホール(講演会参加者はサテライト会場『pool-Espresso & work-』))																					

9月10日(水)午前 口頭発表プログラム								
9月10日	第1会場		第2会場	第3会場	第4会場			
	◆座長 久野 裕 (岡山大・植物研)		◆座長 高梨 秀樹 (東京大)	◆座長 黒羽 剛 (農研機構・生物研)	◆座長 山本 敏央 (岡山大・植物研)			
9:00	101	参照ゲノムを用いたオオムギ品種“早木曾2号”ゲノム解説 ○田中 剛1, 原口 雄飛2, 轟 貴智2, 最相 大輔3, 安彦 友美4, 甲斐 浩臣2 (1. 農研機構・高度分析研究センター, 2. 福岡県農林業総合試験場, 3. 岡山大学, 4. 九州大学)	201	フロリゲン活性化複合体によるイネ茎頂メリステムのクロマチンアクセシビリティの制御 ☆舟山 枝里1,2, 保坂 碧3, 赤司 裕子2, 山口 佳穂2, 吉田 綾2, 木田 晴菜2, 吉田 英樹2, 井藤 純2, 川勝 泰二4, 辻 寛之2,5 (1. 名大院・生命農学, 2. 横浜市大・木原生研, 3. 株式会社日本バイオデータ, 4. 理研・バイオリソース研究センター, 5. 名大・生物センター)	301	イネ重力屈性 QTL の <i>qSOR1</i> 突然変異アリルは超深根性をもたらし、干ばつ耐性を強化する ○宇賀 優作1, 木富 悠花1, 黒田 凌1, 中田 隆1, 射場 木萌春1,2, 相馬 史幸1, 寺本 翔太1, 杉本 和彦1, 河合 翼1 (1. 農研機構・作物研, 2. 東京農業大学)	401	育種家の暗黙知を活かすマルチモーダル生成 AI エージェント群の開発 ○山田 哲也1, 加賀 秋人2, 米丸 淳一1 (1. 農研機構・農業情報研究センター, 2. 農研機構・作物研究部門)
9:15	102	ナノボアシーケンスによる野生エンマコムギの <i>de novo</i> ゲノムアセンブル ☆西村 和紗1, 牛島 幸一郎1, 安井 康夫2, 高野 仁菜1, 中野 龍平2, 門田 有希1, 加藤 鎌司1, 西田 英隆1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 京都大・院農学)	202	イネの茎頂メリステムにおける PHYTOMap 実験系の開発Ⅱ ☆岩間 考紀1, 森下 友梨香1, 辻 寛之2,3 (1. 名大院・生命農学, 2. 名大・生物センター, 3. 横浜市大・木原生研)	302	野生イネ <i>O. glumaepatula</i> が湛水に対して誘導的に発達させる地表根に関わる遺伝子領域の推定 ☆田丸 翔太郎1,2, 宮下 智貴1, 片山 晃汰1, 木元 添麻1, 徳尾 日向子1, 宇賀 優作3, 塩野 克宏1 (1. 福井県大・院生物資源学, 2. 学振・特別研究員, 3. 農研機構・作物研)	402	育種データを最大限活用する「育種支援システム」 田中 凌慧1, 山田 哲也2, 山本 英司1, 〇鐘ヶ江 弘美1,2 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・農業情報研究センター)
9:30	103	F ₂ 集団の反復 QTL 解析による野生エンマコムギが保有する早生遺伝子の探索 ☆高野 仁菜1, 西村 和紗1, 張 芸瑄2, 大熊 眞歩1, 村田 和樹2, 中野 龍平2, 中崎 鉄也2,3, 加藤 鎌司1, 門田 有希1, 西田 英隆1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 京都大・院農学, 3. 京都大・成長戦略本部)	203	Expansion microscopy によるイネ茎頂メリステムの超解像イメージング実験系の開発 ☆石田 由吉1, 森下 友梨香2, 岩間 考紀2, 辻 寛之3,4 (1. 名大・農, 2. 名大院・生命農学, 3. 名大・生物センター, 4. 横浜市大・木原生研)	303	サツマイモ品種「ジェイレッド」の形質転換体作出へ向けた培養条件の検討・確立 ☆小林 ひなた1, 大谷 基泰2, 松井 英諤1, 田淵 宏朗3, 西村 和紗1, 西田 英隆1, 加藤 鎌司1, 門田 有希1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 石川県大・生資工研, 3. 農研機構・九沖研)	403	NAM 集団に基づくゲノミック予測を活用した育種戦略の実証 ☆堺 俊之1, 寺内 良平1,2, 阿部 陽2 (1. 京都大・院農学, 2. 岩手生工研)
9:45	104	◆座長 田中 剛 (農研機構・高度分析研究センター) 高精度ゲノムアセンブリによるホップ (<i>Humulus</i>) の性決定因子の解明 ☆瀬川 天太1, 赤木 剛士2,3, 内田 里佳2, 田中 裕之4, 白澤 健太5, 山岸 紀子6, 八重樫 元6, 夏目 俊7, 高木 宏樹7, 阿部 陽7, 奥野 未来4, 豊田 敦8, 佐藤 杏子9, 本井 傳 有花2, Cheng Zhang2, 牛島 幸一郎2, Josef Patzak10, Lucie Horáková11, Václav Bačovský11, Roman Hobza11, Deborah Charlesworth12, 伊藤 武彦4, 小埜 栄一郎1 (1. サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社, 2. 岡山大学大学院, 3. 株式会社日本バイオデータ, 4. 東京科学大学, 5. かずさ DNA 研究所, 6. 岩手大学, 7. 岩手生物工学研究センター, 8. 国立遺伝学研究所, 9. 富山大学, 10. Hop Research Institute Company, Limited, 11. Institute of Biophysics of the Czech Academy of Sciences, 12. Institute of Ecology and Evolution, University of Edinburgh)	204	ATAC-seq を用いたオープンクロマチンのイメージングに基づくイネ茎頂メリステムのクロマチン状態の解析 ☆森下 友梨香1, 高田 峻輔2, 吉田 綾2, 肥後 あすか2, 原田 哲仁3, 辻 寛之2,4 (1. 名大院・生命農学, 2. 横浜市大・木原生研, 3. 九大・医学, 4. 名大・生物センター)	304	タイヌビエにおける形質転換系の確立 ☆菅原 まなみ1, 岩上 哲史2, 保田 謙太郎3, 椎藤 崇裕4 (1. 宮崎大・農学研究科, 2. 東京農工大・農学部, 3. 秋田県立大・生物資源科学部, 4. 宮崎大・フロンティア)	404	◆座長 鐘ヶ江 弘美 (農研機構・農業情報研究センター) ダイズ RIL 集団におけるマルチオミクスデータを用いた干ばつ応答の統合解析 ☆高橋 祐樹1, 櫻井 建吾2, 戸田 悠介3, 藤 佑志郎4, 大森 良弘2, 山崎 裕司2, 高橋 宏和5, 高梨 秀樹2, 津田 麻衣6, 平井 優美4, 辻本 壽7, 中國 幹生5, 藤原 徹2, 加賀 秋人8, 岩田 洋佳2, 師田 郷太2 (1. 東京大・農学部, 2. 東大・院農学生命科学, 3. 農研機構・農業環境研究部門, 4. 理研・環境資源科学研究センター, 5. 名大・院生命農学, 6. 東洋大・食環境科学部, 7. 鳥取大・乾燥地研究センター, 8. 農研機構・作物研究部門)
10:00	105	ナノボアだけでどこまで同質4倍体ゲノムをアセンブルできるか ○内藤 健1, 赤井 浩太郎2 (1. 農研機構・資源研, 2. 農研機構・北農研)	205	◆座長 伊藤 純一 (東京大) 成長相転換の最初期にイネの茎頂メリステムで生じる発生学的変化 ☆本多 萌恵1, 田中 真理1, 田中 若奈2, 辻 寛之1,3 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 広島大院・統合生命, 3. 名大・生物センター)	305	◆座長 松下 修司 (広島総研・農業技術センター) <i>in planta</i> Particle Bombardment (iPB) 法を用いた高効率なメロンのゲノム編集技術の開発と人工追熟可能な高日持ち性系統の創出 ○佐々木 健太郎1, 浦野 薫1, 耳田 直純2, 野中 聡子3, 江面 浩2,3, 今井 亮三1 (1. 農研機構生物研, 2. サナテックライフサイエンス(株), 3. 筑波大生命環境系)	405	異環境下における干ばつ耐性向上に向けたダイズ RIL のイオノーム・ゲノム情報に基づく選抜と交配 ☆樽本 ひなの1, 櫻井 建吾1, 木下 青1, 戸田 悠介2, 大森 良弘1, 津田 麻衣3, 辻本 壽4, 加賀 秋人5, 岩田 洋佳1 (1. 東大・院農学生命科学, 2. 農研機構・農業環境研究部門, 3. 東洋大・食環境科学部, 4. 鳥取大・乾燥地研究センター, 5. 農研機構・作物研究部門)
10:15	106	アレル特異的 k-mer を利用した Nanopore シーケンシングによる同質倍体サツマイモにおけるアレル同定の新戦略 ☆中原 貴臣1, 田中 勝2, 牛島 幸一郎1, 西村 和紗1, 西田 英隆1, 加藤 鎌司1, 門田 有希1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 農研機構・九沖研)	206	イネの腋芽形成における <i>ASPI</i> と <i>TAB1</i> の機能解析 ☆大山 歩弥1, 鳥羽 大陽2, 佐藤 萌子3, 辻 寛之3,4, 田中 若奈1 (1. 広島大・院統合生命, 2. 宮城大・食産業, 3. 横浜市大・木原生研, 4. 名大・生物センター)	306	iPB-RNP 法による「キタワセンバ」 <i>S-locus EARLY FLOWERING3</i> ゲノム編集系統の作出 ☆染谷 陸1,2, 朽津 和幸3, 今井 亮三1,2 (1. 東理大・院創域理工, 2. 農研機構生物機能利用研究部門, 3. 東理大・創域理工)	406	ゲノム情報に基づく交配戦略によるダイズ RIL 集団の遺伝的ポテンシャルの改良 ☆櫻井 建吾1, 戸田 悠介2, 稲森 稔1, 濱崎 甲資3, 辻本 壽4, 加賀 秋人5, 岩田 洋佳1 (1. 東大・院農学生命科学, 2. 農研機構・農業環境研究部門, 3. 理研・革新知能統合研究センター, 4. 鳥取大・乾燥地研究センター, 5. 農研機構・作物研究部門)

9月10日(水) 午前 口頭発表プログラム				
第5会場	第6会場	第7会場		9月10日
◆座長 井上 喜博 (京都大)	◆座長 山形 悦透 (九州大)	◆座長 陳 蘭庄 (南九州大)		
501 4つのNLRから構成されるイネ抵抗性遺伝子 <i>Pi-etO5</i> の発見 ○清水 元樹 1, 足助 聡一郎 2, 阿部 陽 1, 高田 萌楓 2, 安達 広明 3, 藤原 幹 3, 堺 俊之 4, 土佐 幸雄 2, 寺内 良平 1, 4 (1. 岩手生工研, 2. 神戸大学・農学研究科, 3. 北海道大学・大学院先端生命科学研究院, 4. 京都大学・農学研究科)	601 トモモロコシの茎葉部原基を用いた形質転換法の開発 ☆小島 朋香 1, 田中 久美子 1, 間野 吉郎 2, 古田 智敬 3, 芦 莉 基行 4, 辻 寛之 4, 縣 歩美 1, 高橋 宏和 1, 中國 幹生 1 (1. 名大院・生命農学研究科, 2. 農研機構・畜産研究部門, 3. 岡山大・資源植物科学研究所, 4. 名大・生物センター)	701 越南系統群の品質に関する発育段階特異的な遺伝子型×環境相互作用 ○小林 麻子 1, 山本 英司 2, 吉田 英樹 3, 渡辺 脩斗 1, 町田 芳恵 1, 茶谷 弦輝 1, 中岡 史裕 1, 松岡 信 3 (1. 福井農試, 2. 明治大学, 3. 福島大学)		9:00
502 日本産コムギ系統 R3 が保有するコムギいもち病抵抗性遺伝子のマッピング ☆曾田 圭一 1, 足助 聡一郎 2, 土佐 幸雄 2, 半田 裕一 1 (1. 京都府大・院生命環境, 2. 神戸大・院農学)	602 パンコムギの多様なコムギ連植物に対する交雑親和性 ☆龍 紋葉, 佐久間 俊 (鳥取大学農学部)	702 インドシナ諸国で60年以上前に収集されたイネ在来品種群の種子標本を用いた集団構造解析 ○沼口 孝司 1, Lim Sathya1, Orn Chhoun2, 東久保 祐衣 3, 齊藤 大樹 4, 佐藤 豊 5, Rafal Gutaker6 (1. 神戸大・院・農学, 2. カンボジア・農業研究開発研究所, 3. 神戸大・農学, 4. 国際農林水産業研究センター・熱帯島嶼研究拠点, 5. 国立遺伝学研究所, 6. キュー王立植物園)		9:15
503 コムギ黄斑病抵抗性遺伝子に関するDNAマーカー開発及び新規アレルの発見 ☆鈴木 太郎 1, 石川 吾郎 2, 中村 春貴 3, 黒野 綾子 1, 遠山 孝通 1 (1. 愛知農総試, 2. 農研機構 作物研, 3. 農研機構 北農研)	603 コムギ配偶子致死作用の解明に向けた時系列 single pollen RNA-seq 解析 ☆山森 晃一 1, 2, 村田 和樹 1, 角井 宏行 3, 吉川 貴徳 1, 那須田 周平 1 (1. 京大院・農学, 2. 岡山大・植物研, 3. 東大院・農学生命)	703 ザンビアのイネ遺伝資源における冠根の伸長角度に関する遺伝変異 ☆藤原 七海 1, 大城 和輝 1, 小松 原 崇 2, マプト フィリ 3, 福田 善通 1 (1. 琉球大・農, 2. JICA, 3. ザンビア農業研究所)		9:30
504 ◆座長 清水 元樹 (岩手生工研) <i>strigosa</i> エンバク品種「テララ」由来のサツマイモネコブセンチュウ抵抗性に関するゲノム領域のGWASによる同定 ○上床 修弘 1, 上杉 謙太 2, 水林 達実 1, 村田 岳 2, 山川 博幹 1, 桂 真昭 3 (1. 農研機構作物研究部門, 2. 農研機構植物防疫研究部門, 3. 農研機構九州沖縄農業研究センター)	604 栽培バレイショに由来する自家不和合性阻害遺伝子の評価 ☆山下 まつり, 浅井 忖成, 安賀 梓, 鈴木 翔琉, 保坂 和良, 實友 玲奈 (帯広畜産大学)	704 土耕および2つの水耕栽培条件下におけるバングラデシュ産イネ品種の耐塩性評価 ☆井上 結実 1, 山形 悦透 2, 安井 秀 2 (1. 九州大・院・生物資源環境科学府, 2. 九州大・院・農)		9:45
505 DNAマーカーによるインゲンマメの粒色とウイルス抵抗性遺伝子の連鎖解析 ○山口 直矢 1, 佐藤 博一 2, 中川 浩輔 3, 田中 啓介 4, 細井 昂人 5, 中原 健二 6 (1. 道総研中央農試, 2. 道総研十勝農試, 3. 道総研北見農試, 4. 東京情報大, 5. 東京農大ゲノム解析センター, 6. 北大農学研究院)	605 ◆座長 北柴 大泰 (東北大) Knockout of mitochondrial gene, <i>orf352</i> , in Wild Abortive-cytoplasmic male sterile rice ☆ Hsu Yi Mon1, 2, Shin-ichi Arimura3, Tomohiko Kazama1 (1. Grad. Sch. Bioresour. Bioenviron. Sci., Kyushu Univ., 2. Dept. Agri. Biotech, Yezin Agri. Univ., 3. Grad. Schl. Agri. Life Sci., The Univ. of Tokyo)	705 ◆座長 沼口 孝司 (神戸大) 遺伝的多様性を網羅した野生種 <i>Aegilops umbellulata</i> Zhuk. コレクションと <i>ph2</i> 変異パンコムギ系統の交雑によるプレブリーディング系統群の作出 ☆孫 櫻 1, 吉田 健太郎 2, 松岡 由浩 1 (1. 神戸大・院農学, 2. 京大・院農学)		10:00
506 カブモザイクウイルス耐病性ラシナ品種「BIAN GAN QING」における耐病性候補領域の同定 ☆星野 宏弥 1, 桑原 里歩 2, キム オッキョン 2, 小松 憲治 3, 吉田 沙樹 3, 入江 憲治 4, 和久井 健司 3 (1. 東農大・院農学研究科, 2. 東農大・農学科, 3. 東農大・生物資源開発学科, 4. 東農大・国際農業開発学科)	606 Production of neo-tetraploid and -diploid hybrids between <i>Oryza sativa</i> and <i>O. rufipogon/longistaminata</i> exhibiting high salt tolerance by in vitro fertilization ☆ Wongsakorn Wongla1, Satoka Ono1, Yutaka Sato2, Takahashi Okamoto1 (1. Dept. Biol., TMU, 2. Plant Gen., NIG)	706 Rice and wheat hybrid mitochondrial genome changes rice - wheat root system architecture ○ Benjamin Ewa Ubi1, 2, Rika Sugiura3, Kingsley Ikenna Ikpagodo3, Nonoka Onda4, Aya Satoh4, Tety Maryenti4, 5, Takashi Okamoto4, Takayoshi Ishii1, 6, 7 (1. IPDRE, Tottori Univ., 2. Dept. of Biotech., Ebonyi State Univ., Nigeria, 3. Grad. Sch. Sustainability Sci., Tottori Univ., 4. Grad. Sch. Sci., Tokyo Metro. Univ., 5. Bio. Fac. of Math. and Nat. Sci., Univ., Indonesia, 6. ALRC, Tottori Univ., 7. Ch. Eng. Res., Tottori Univ.)		10:15

9月10日（水）午前 口頭発表プログラム								
9月10日		第1会場		第2会場		第3会場		第4会場
10:30	107	◆座長 内藤 健 (農研機構・資源研) コシヒカリ T2T ゲノム情報を基盤としたコシヒカリ関連品種の比較ゲノム解析 ○吉田 英樹 1, 高橋 秀和 1,2, 赤木 剛士 3, 最相 大輔 4,7, 菅波 眞央 1, 田宮 元 5,6,7, 山本 英司 8, 小林 麻子 9, 松岡 信 1 (1. 福島大・発酵研, 2. 福島大・食農, 3. 日本バイオデータ, 4. 岡山大・植物研, 5. 東北大・院医, 6. 東北大・東北メディカル・メガバンク機構, 7. 理研・AIP, 8. 明治大・院農, 9. 福井県農試)	207	イネのシュート形成におけるストリゴラクトン関連遺伝子の新機能の解析 ☆相森 颯馬 1, 大山 歩弥 1, 鳥羽 大陽 2, 田中 若奈 1 (1. 広島大・院統合生命, 2. 宮城大・食産業)	307	サボニン生成関連遺伝子 <i>GmBAS1</i> の機能欠損変異ダイズの生化学的及び分子生物学的特徴づけ ☆麻 裕毅 1, 森田 遙絵 2, 關 光 2, 松本 憲二 3, 繁田 亮 3, 藤井 賢二 3, 山本 貴明 3, 増田 悠 3, 山田 哲也 1 (1. 北大・院農, 2. 大阪大・院工学, 3. 兼松 (株))	407	Single-step genomic best linear unbiased predictions in sugarcane ○Gota Morota1, Mateus Goncalves2, Luiz Petermelli2 (1.Grad. Sch. Agr. Life Sci. Univ. Tokyo, 2.Federal Univ. of Vicosa)
10:45	108	完全ゲノムがもたらす遺伝学のパラダイムシフト：遺伝子領域と非遺伝子領域における突然変異バイアス 赤木 剛士 1, ○最相 大輔 2,7, 吉田 英樹 3, 高橋 秀和 3,4, 池田 陽子 2, 松田 幹 3,4, 田宮 元 5,6,7, 小林 麻子 8, 松岡 信 3 (1. 日本バイオデータ, 2. 岡山大・植物研, 3. 福島大・発酵研, 4. 福島大・食農, 5. 東北大・院医, 6. 東北大・東北メディカル・メガバンク機構, 7. 理研・AIP, 8. 福井県農試)	208	双極葉変異体の異所的分裂組織における分げつ関連遺伝子の発現解析 ☆千葉 海大 1, 菊地 美希 1, 八島 果歩 3, 山崎 莊 3, 岡本 理沙 3, 渡辺 真世 3, 春原 英彦 2, 永澤 信洋 3, 佐藤 (永澤) 奈美子 3 (1. 秋田県大・院生物資源科学, 2. 熊本大・理学, 3. 秋田県大・生物資源科学)	308	ゲノム編集によるリボキシゲナーゼ欠失ダイズの作出とその特性評価 ☆玉本 祐一郎 1, 岡田 和也 1, 芳賀 泰彦 2, 高田 祐輔 1, 松本 憲二 3, 繁田 亮 3, 藤井 賢二 3, 山本 貴明 3, 増田 悠 3, 松浦 英幸 1, 山田 哲也 1 (1. 北大・院農, 2. 北大・農, 3. 兼松 (株))	408	◆座長 山田 哲也 (農研機構・農業情報研究センター) 薬用シソの交配実験で示したゲノミック選抜の有効性 ☆木下 青 1, 櫻井 建吾 1, 津坂 宜宏 2, 櫻井 美希 2,3, 白澤 健太 4, 磯部 祥子 1,4 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 株式会社ツムラ, 3.LAO TSUMURA CO,LTD, 4. かずさ DNA 研究所)
11:00	109	Graphite による家系構造を利用した遺伝子型補完と修正の手法の拡張と評価 ○稲森 稔 1, 南川 舞 2, 清水 徳朗 3, 國久 美由紀 3, 野中 圭介 3, 森谷 茂樹 3, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 千葉大・国際高等研究基幹, 3. 農研機構・果樹茶葉研究部門)	209	◆座長 辻 寛之 (横浜市大・木原生研、名大・生物センター) シロイヌナズナ強制発現体を用いたホウレンソウの <i>CONSTANS</i> ホモログに関する機能解析 ☆廿日出 真衣 1, 石川 梨紗 1, 山野 薫 1, 平川 英樹 2, 小野寺 康之 1 (1. 北海道大・院農, 2. 九州大・院農)	309	◆座長 佐々木 健太郎 (農研機構・生物研) CRISPR-Cas3 によるダイズ <i>IFS2</i> 遺伝子への標的変異導入 ○雑賀 啓明, 原 奈穂, 遠藤 真咲 (農研機構・生物研)	409	遺伝子ピラミディングを最適化する R パッケージ <i>gpyramid</i> の開発 ☆谷口 昇志 1, 清水 浩品 2, 田中 剛 3, 石川 吾郎 4, 小林 史典 4 (1. 農研機構・農業情報研究センター, 2. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 3. 農研機構・高度分析研究センター, 4. 農研機構・作物研究部門)
11:15			210	<i>BoFLC2</i> Introgression Alters the Vernalization Response through Epigenetic Memory in <i>Brassica rapa</i> ☆ Akhi Paul Chowdhury1, Shuta Yano1, Kaoru Tonasaki2, Ryo Fujimoto1 (1.Graduated School of Agricultural Science, Faculty of Agriculture, Kobe University, 2. Kihara Inst. Biol. Res.)	310	大豆の <i>ms5</i> 遺伝子による雄性不稔は <i>MSH4</i> 遺伝子内のスプライスアクセプターサイトの生成が原因である 長山 照樹 1, 山谷 浩史 2, 山口 直矢 3, 五十嵐 秀成 4, 津田 麻衣 5,6, 加藤 信 1, 高橋 浩司 1, ○加賀 秋人 1 (1. 農研機構・作物研究部門, 2.QST・高崎研, 3. 道総研・中央農試, 4. 道総研・十勝農試, 5. 筑波大・T-PIRC, 6. 東洋大・食環境科学)	410	時系列 UAV データを用いたダイズとソルガムの混作における相互作用評価 ☆砂川 隼秀 1, 櫻井 建吾 2, 木下 青 2, 劉 佳啓 3,4, 石井 孝佳 4,5, 高梨 秀樹 2, 岡田 真銀 2, 藤 佑志郎 6, 大森 良弘 2, 高橋 宏和 7, 津田 麻衣 8, 郭 威 2, 市橋 泰範 6, 岩田 洋佳 2, 平井 優美 6(1. 東京大・農学部, 2. 東大・院農学生命科学, 3. 島根大・生物資源科学部, 4. 鳥取大・乾燥地研究センター, 5. 鳥取大・国際乾燥地研究教育機構, 6. 理研・環境資源科学研究センター, 7. 名大・院生命農学, 8. 東洋大・食環境科学部)
11:30			211	<i>Brassica rapa</i> における <i>FLOWERING LOCUS C</i> ホモログの機能解析と春化応答性領域の同定 ☆山田 深晴 1, Akhi Chowdhury1, 長部 謙二 2, 殿崎 薫 3, 藤本 龍 1, Diana Buzas4 (1. 神戸大院・農学, 2. 沖縄科学技術大・植物エビジェネティクスユニット, 3. 横浜市立大院・理学, 4. 筑波大院・生命環境系)	311	ダイズの二次分裂組織形成を制御する <i>WOX4</i> 遺伝子の機能解析 ☆後藤 万里奈 1, 長谷川 史果 1, 馬場 唯菜 1, 加賀 秋人 2, 縣 歩美 1, 中國 幹生 1, 高橋 宏和 1 (1. 名大院・生命農学研究科, 2. 農研機構・作物研究部門)	411	広範囲・高分解能：イネ根系の酸素ダイナミクス観測を可能にする新二次元酸素オプトードの開発 ☆芝 日葉子 1,2, 江上 泰広 3, 清田 悠生 3, 塩野 克宏 1 (1. 福井県大・院生物資源学, 2. 学振・特別研究員, 3. 愛知工大・機械学科)

9月10日（水）午前 口頭発表プログラム					
第5会場		第6会場		第7会場	
507	「ベニダイナゴン」由来カルスを 用いた除草剤耐性アズキ系統の選 抜とその評価 ☆阿出川 さとみ 1, 山口 直矢 1, 相 馬 ちひろ 1, 長澤 秀高 2, 大波 正寿 1,2, 丸田 泰史 1,3, 白澤 健太 4(1. 道 総研中央農試, 2. 道総研十勝農試, 3. 道総研道南農試, 4. かずさ DNA 研究所)	607	<i>Oryza rufipogon</i> と <i>O. meridionalis</i> に由来する F ₁ 花粉不稔遺伝子 <i>S21</i> の準同質遺伝子系統における稔性 回復の遺伝様式 ☆原 希帆 1, 窪田 隆一 1, 安井 秀 2, 山形 悦透 2 (1. 九州大・院・生物 資源環境科学府, 2. 九州大・院・農)	707	Analysis of genetic diversity and population structure of Himalayan wheat landraces ☆ Yunfei Li1, Zhaojie Meng1, Miyuki Nitta1, Atsushi Ohta1, Kazuhiro Nemoto2, Serag Alnor Yasir Gorafi1, Shuhei Nasuda1 (1.Grad. Sch. Agri., Kyoto Univ., 2.Grad. Sch. Agri., Shinshu Univ.)
508	◆座長 宇賀 優作 (農研機構・作物研) 酸素ライブイメージングで可視化 されたイネ苗立ち期の根の生長と 酸素放出ダイナミクス ○塩野 克宏 1, 田丸 翔太郎 1,2, 藤 原 七海 1, 芝 日菜子 1,2 (1. 福井県 大・院生物資源学, 2. 学振特別研 究員)	608	アフリカ産野生イネ <i>O. longistaminata</i> とアジア栽培イネ <i>O. sativa</i> 間に見 いだされる雑種不稔遺伝子座 <i>S13</i> における対立遺伝子の分化 ☆塩崎 兄典, Myint Zin Mar, 高 西 若菜, 貴島 祐治, 小出 陽平 (北 海道大学大学院 農学院)	708	◆座長 上床 修弘 (農研機構・作物研) 北海道向けの二条裸モチ性オオム ギ品種「富系 1103」の育成 ○木原 誠, 金谷 良市, 保本 健宏 (サッポロビール・原料開発研究 所)
509	イネ根で湿害により誘導される通 気組織形成領域における ABA 応答 の制御機構解析 ☆小島 百香, 篠澤 章久, 伊澤 かな な, 中村 進一 (東農大・院・バイオ)	609	◆座長 森 正彦 (帯広畜産大) アズキに学ぶダイズの育種 ー GmMYB26 機能欠損による裂莢 抵抗性の革新ー ○高橋 有 1, 竹島 亮馬 2, 加賀 秋人 2, 中田 隆 2, 内藤 健 1, 石本 政男 2 (1. 農研機構・遺伝資源研究セン ター, 2. 農研機構・次世代作物開 発研究センター)	709	品種育成は国内産小麦収量の向上 にどう貢献したか ○柳沢 朗 1,2 (1. 道総研フェロー, 2. カルビーポテト (株))
510	<i>Zea nicaraguensis</i> 由来の恒常的通 気組織及び酸素漏出バリア形成能 を導入したトウモロコシ系統を用 いた耐湿性評価 ☆岡田 孟久 1, 大森 史恵 2, 間野 吉 郎 2, 縣 歩美 1, 高橋 宏和 1, 中園 幹 生 1 (1. 名大院・生命農学研究科, 2. 農研機構・畜産研究部門)	610	ロングリード技術を用いたダダ チャマメの全ゲノム解読と良食味 QTLs における候補遺伝子の推定 ☆塩谷 直弘 1, 清水 元樹 2, 阿部 陽 2, 小木曾 映里 3, 星野 友紀 1,4 (1. 岩手大院・連合農, 2. 岩手生工研, 3. 東京農工大院・農, 4. 山形大・農)	710	長期保存に適した温州みかん「春 しずか」の重イオンビームによる 変異育種と品種識別用 DNA マー カーの開発 ☆石井 公太郎 1,2, 大久保 貴博 3,4, 白川 佑希 1, 渡村 加奈子 3, 加藤 光 弘 3,5, 阿部 知子 1 (1. 理研・仁科 センター, 2. 量研機構・放医研, 3. 静 岡農林技研・果樹研センター, 4. 静 岡県・農業局・農業戦略課, 5. 静 岡農林技研・茶業研究センター)
511	アブラナの低酸素応答における ABA の役割調査 ☆横内 望美 1, 玉井 陽日 1, 高橋 宏 和 2, 中園 幹生 2, 伊澤 かな 1, 中 村 進一 1, 篠澤 章久 1 (1. 東農大・ バイオ, 2. 名大院・生命農)	611	近赤外分光法を用いたダダチャマ メの良食味に関わる QTL 解析の高 速化 ☆安部 遥希 1, 塩谷 直弘 2, 小木 曾 映里 3, 星野 友紀 1,4 (1. 山形大 院・農, 2. 岩手大院・連合農, 3. 東 京農工大院・農, 4. 山形大・農)	711	集団選抜を用いた宮崎在来野菜 「糸巻き大根」の品種改良～「南 九スプール No.7 号」の育成～ ○陳 蘭庄 1,2, 越智 俊幸 1, 杉浦 周 晟 1, 萬代 翔 1, 八木 翔太郎 1, 木 村 雄樹 1, 阿部 風雅 1, 猿楽 長征 1 (1. 南九州大・環境園芸, 2. 南九 州大・大学院園芸学食品科学研究 科)

9月11日(木) 午前 口頭発表プログラム												
9月11日		第1会場		第2会場		第3会場		第4会場				
		◆座長 佐久間 俊 (鳥取大)		◆座長 大西 一光 (帯広畜産大)		◆座長 井藤 純 (横浜市大)		◆座長 師田 郷太 (東京大)				
9:30	112	バンコムギ 6A 染色体における光合成と収量性に関する QTL の同定とその周辺遺伝子の解明 ☆日名 弘貴 1, 石井 孝佳 2, 西村 和紗 3, 松岡 由浩 4, 辻本 壽 2, 妻鹿 良亮 1 (1. 山口大・院創成科学, 2. 鳥取大・乾燥地研, 3. 岡山大・院環境生命, 4. 神戸大・院農)		212	ジャーマンカモミールの花芽形成遺伝子の探索と草姿改変 ○黒木 康士朗 1, 高原 美規 2 (1. 長岡技術大・院物質生物学, 2. 長岡技術大・物質生物系)		312	シロイヌナズナ C24 系統における DNA 維持メチル化酵素の機能喪失が表現型に与える影響 ☆川本 有姫 1, 山下 萌 1, 村上 照実 1, 松尾 康大 1, 白木 沙彩 1, 清水 元樹 2, 藤本 龍 1 (1. 神戸大院・農, 2. 岩手生工研セ)		412	農研機構が整備を進めている「育種情報インフラ」におけるデンブ特性データの集積 ○荒木 悦子 1, 木村 映一 1, 梅本 貴之 1, 堀 清純 2, 池ヶ谷 智仁 2, 鈴木 信裕 2, 松下 景 2, 後藤 明俊 2, 黒木 慎 2 (1. 農研機構・食品研究部門, 2. 農研機構・作物研究部門)	
9:45	113	突然変異系統の QTL マッピングにおけるターゲットシーケンスの有用性: オオムギ出穂期関連 QTL の解析事例 ☆武田 尚馬, 大熊 眞歩, Mandozai Ajmal, 西村 和紗, 牛島 幸一郎, 門田 有希, 加藤 鎌司, 西田 英隆 (岡山大院・環境生命自然)		213	コムギ早生変異体の遺伝解析による出穂関連遺伝子 <i>TaBBX-A19</i> の同定 ☆古村 翔也 1, 2, 小林 史典 2, 大野 陽子 2, 半田 裕一 3, 加星 光子 4, 安倍 史高 5, 井上 喜博 1, 吉田 健太郎 1 (1. 京大院農, 2. 農研機構・作物研究部門, 3. 京都府大院生命環境, 4. かずさ DNA 研, 5. 農研機構・生物機能利用研究部門)		313	ベチュニア <i>CHS-A</i> 遺伝子のコサブレーションにおける二次的 siRNA 産生は mRNA の複数の切断点を起点とする ☆小栗 健太, 舩 真白, ドウイアン ティマリア・ステファニー, 金澤 章 (北海道大・院農)		413	深層学習を用いたコムギ穀粒画像による製粉性の推定 ☆谷 舞子 1, 山田 哲也 2, 石川 吾郎 3, 西内 俊策 1 (1. 名大・院生命農, 2. 農研機構・農業情報研究センター, 3. 農研機構・作物研究部門)	
10:00	114	主要作物ギニアヤムにおける性決定候補 miRNA の特定 ☆工藤 葵 1, 杉原 優 2, 井関 洗太郎 3, 松本 亮 4, 美濃地 弘樹 1, 小内 清 1, 阿部 陽 5, 夏目 俊 5, 堺 俊之 1, 及川 香梨 5, 清水 元樹 5, 伊藤 和江 5, 安達 広明 6, 本田 晃大 1, 山中 慎介 3, Patrick Adebola 4, Asrat Asfaw 4, 寺内 良平 1 (1. 京都大・農, 2. The Sainsbury Laboratory, 3. 国際農研, 4. IITA, 5. 岩手生工研, 6. 北大・先端生命)		214	出穂に関する QTL 解析からみたザンビアのイネ環境条件 ☆奥那嶺 圭祐 1, 小林 拓樹 1, 小松原 崇 2, ムレンガラブソング 3, ムンコンプウェ グライビル 3, マプトフィリ 3, チンジ モデリン 3, ムサブラスター 3, ムセタ ノーラ 3, カムグヤ ローナ 3, ジョブ ジャスティン 3, 福田 善通 1 (1. 琉球大・農, 2. JICA, 3. ザンビア農業研究所)		314	Petunia vein clearing virus ゲノムはコサブレーションに対するサブレッサーをコードする ☆北川 拓実 1, 祖父江 寛子 1, 小栗 健太 1, 舩 真白 1, 福原 敏行 2, 金澤 章 1 (1. 北海道大・院農, 2. 東京農工大・院農)		414	葉緑体ゲノム特異的ランダム変異導入集団からの変異体単離の試み ☆小坂 七海 1, 原田 佳樹 1, 中里 一星 1, 奥野 未来 2, 伊藤 武彦 3, 堤 伸浩 1, 有村 慎一 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 久留米大医, 3. 東京科学大・院生命理工)	
10:15	115	◆座長 小野木 章雄 (龍谷大) ゲノミック予測モデルに基づく後代分離予測を手がかりとしたカンキツ育種の交配・選抜に関する考察 ☆木村 奏 1, 南川 舞 2, 野中 圭介 3, 清水 徳朗 3, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 千葉大・国際高等研究基幹, 3. 農研機構・果樹茶部門)		215	カブ品種「時無小燕」における極晩抽性原因遺伝子領域の探索 ☆矢野 秀汰 1, Akhi Paul Chowdhury 1, 原 蒔士 2, 酒本 未来 2, 清水 元樹 3, 高木 宏樹 2, 藤本 龍 1, 殿崎 薫 4 (1. 神戸大院・農, 2. 石川県大・生産科学, 3. 岩手生工研セ, 4. 横浜市大・木原生研)		315	コチオウランの pATPase の組織特異的発現の調査 ☆田代 莉乃 1, 高原 美規 2 (1. 長岡技術大・院物質生物学, 2. 長岡技術大・物質生物系)		415	QTL-seq GUI : クリック操作で実行可能な QTL-seq 解析用 GUI バイブライン ☆酒本 未希 1, 高田 茉莉奈 1, 瀬川 天太 1, 大石 睦月 1, 吉住 允秀 1, 町 優花 1, 白矢 武士 2, 高木 宏樹 1 (1. 石川県立大学, 2. 新潟県農業総合研究所)	
10:30	116	一番茶萌芽期の早晩性に関するゲノムワイド関連解析及びゲノミック予測モデルの開発 ○青島 千恵理 1, 川本 純平 1, 石黒 雄大 2, 永野 惇 3, 4, 一家 崇志 2, 5, 6, 7, 山下 寛人 2, 5, 6, 7 (1. 静岡県・茶研, 2. 岐阜大学大学院連合農学研究科, 3. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター, 4. 慶應義塾大学先端生命科学研究所, 5. 静大・院農, 6. 静大・グリーン研, 7. 静大・ティーサイエンス研)		216	◆座長 田中 若奈 (広島大) 栽培ビート分化過程における春化要求性遺伝子アレルの変遷 ☆大石 海苑, 早川 諒, 谷口 英吾, 北崎 一義, 久保 友彦 (北海道大・院・農)		316	◆座長 津釜 大佑 (東京大) Two <i>Stabiliser</i> loci in <i>Antirrhinum</i> suppress Tam3 transposition via a novel mechanism ☆ Shasha Wang 1, Tasuku Yoshida 2, Kenji Nakahara 1, Yuji Kishima 1 (1. Research Faculty of Agriculture, Uni. Hokkaido, 2. Grad. Sch. Agriculture, Univ. Hokkaido)		416	◆座長 荒木 悦子 (農研機構・食品研究部門) クリスマスローズの雑種後代作出に向けた試み ☆宮川 莉和 1, 小泉 健人 2, 川村 一徳 2, 房 相佑 1, 大西 孝幸 1 (1. 宇都宮大・地域創生科学, 2. 有限会社ジョルディカワムラ)	
10:45	117	交配集団のゲノミック選抜に向けた一番茶萌芽期 GP モデルの検証 ○川本 純平 1, 青島 千恵理 1, 石黒 雄大 2, 永野 惇 3, 4, 一家 崇志 2, 5, 6, 7, 山下 寛人 2, 5, 6, 7 (1. 静岡県・茶研, 2. 岐阜大学大学院連合農学研究科, 3. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター, 4. 慶應義塾大学先端生命科学研究所, 5. 静大・院農, 6. 静大・グリーン研, 7. 静大・ティーサイエンス研)		217	トレニアのフリル変異体におけるサイトカイニンの含量および応答性の変化 ☆黛 隆宏 1, 石井 公太郎 2, 畑下 昌範 3, 高城 啓一 3, 小嶋 美紀子 4, 竹林 裕美子 4, 榎原 均 4, 5, 東山 哲也 6, 阿部 知子 7, 風間 裕介 1, 7 (1. 福井県立大学・院・生物資源, 2. 量研機構・放医研, 3. 若エネ研・生物資源, 4. 理研・CSRS, 5. 名大院・生命農学, 6. 東京大・理・生物科学, 7. 理研・仁科センター)		317	栽培イネから発見された内在性長鎖 RNA ウイルスの複製に関連する遺伝子の解析 ☆満壽 利毅, 橋本 遥, 森山 裕充 (農工大・院農)		417	バレイショ品種「しまあかり」の二期作出芽安定性に及ぼす種イモ作型の影響と育種の意義 ○田中 義弘 1, 佐藤 光徳 2, 柏木 伸哉 1 (1. 鹿児島県農業開発総合センター, 2. 鹿児島県立農業大学校)	
11:00	118	◆座長 濱崎 甲寅 (理研・革新知能統合研究センター) 遺伝的多様性に乏しいラッカセイにおけるゲノムワイド遺伝子型解析手法の比較検討 ○白澤 健太 1, 津金 胤昭 2 (1. かずさ DNA 研, 2. 千葉農総研)		218	Improving rice lateral root development through understanding its auxin-dependent and independent regulatory pathways ☆ Yihao DONG 1, Seiya Kushida 1, Maaya Kanao 1, Cornelius Wainaina 2, Patrick Louie Lipio 1, Yoshiaki Inukai 3 (1. Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya U., 2. Dept. Hort. Food Sec., JKUAT, 3. ICREA, Nagoya U.)		318	タバコ属種間雑種における染色体突然変異の発生頻度に関する候補遺伝子座の同定 ☆中田 康貴 1, 西村 和紗 2, 永井 翔大 3, 4, 手塚 孝弘 3, 山田 哲也 1 (1. 東京農工大院連合農学研究科, 2. 岡山大院環境生命自然科学研究科, 3. 大阪公立大院農学研究科, 4. 大阪環水研)		418	不良環境耐性条件下におけるイネの <i>SD1</i> および <i>SPIKE</i> の遺伝子組み合わせ効果 ☆関 亦 岳, 望月 朗, 福田 善通 (琉球大・農)	

9月11日(木) 午前 口頭発表プログラム						
第5会場		第6会場		第7会場	9月11日	
◆座長 小林 麻子 (福井農試)		◆座長 高橋 有 (農研機構・遺伝資源研究センター)		◆座長 風間 智彦 (九州大)		
512	イネ実生における高温ストレス下でのタンパク質凝集体蓄積の品種間差に関わる遺伝子の探索 ☆犬島 愛乃, 山田 哲也 (農工大・院農)	612	豆腐の食味向上を目的とした EMS 突然変異および交雑由来大豆における高シヨ糖系統の選抜 ☆高橋 春南 1, 五十嵐 秀成 2, 小林 聡 3, 山口 直矢 3 (1. 道総研・上川農試, 2. 道総研・十勝農試, 3. 道総研・中央農試)	712	トマト変異体リソースの整備とエクソームシーケンスデータベースの公開 ☆久家 徳之 1, 杉本 貢一 1,2, 川本 祥子 3, 福田 直也 1, 江面 浩 1,4 (1. 筑波大・つくば機能植物イノベーション研究センター, 2. 農研機構・高度分析研究センター, 3. 国立遺伝学研究所・情報研究系, 4. サナテックライフサイエンス)	9:30
513	今世紀に入ってからの温暖化傾向が全国の水稲の1等米比率に及ぼした影響および高温耐性品種導入効果の推定 ○長谷川 利拡, 若月 ひとみ (農研機構農業環境研究部門)	613	高温が北海道産ダイズ子実のシヨ糖含量に及ぼす影響と今後の育種展望 ☆五十嵐 秀成 1, 高橋 春南 2, 細川 優介 3, 川原 美香 4, 小谷野 茂和 3, 中道 浩司 3, 小林 聡 3, 山口 直矢 3 (1. 道総研・十勝農試, 2. 道総研・上川農試, 3. 道総研・中央農試, 4. とち財団)	713	効率的なトマトF ₁ 種子生産を目指した稔性回復系統の開発と稔性回復機構の解明 ☆桑原 康介 1, 中嶋 梨花 2, ヴェンボストラエテン アレクシス 3, 江面 健太郎 4,5, 島山 欽哉 1, 有泉 亨 5, 白澤 健太 6 (1. 東北大・院農学, 2. 東大・院農生, 3. 筑波大・院理工情報生命, 4. 国際農研, 5. 筑波大・生命環境系, 6. かずさ DNA 研)	9:45
514	水稲白未熟粒率発生モデルと圃場実験を用いた品種の高温登熟性格付け支援の試み ○若月 ひとみ 1, 鈴木 雄一 2, 平山 正賢 2, 石川 春香 2, 中野 月音 2, 長谷川 利拡 1 (1. 農研機構・農業環境研究部門, 2. 茨城県農業総合センター生物工学研究所)	614	黄色塊茎色を示すバレイショ品種間におけるカロテノイド組成の差異 ☆石津 有悟 1, 遠藤 亜矢 1, 佐々木 晴充 2, 五十嵐 俊哉 2, 山田 哲也 1 (1. 北海道大・院農, 2. カルビーポテト (株))	714	◆座長 門田 有希 (岡山大) ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性が“やや強”のでん粉原料用バレイショ新品種「きよみのり」の育成 ○赤井 浩太郎 1, 中嶋 瞳 1, 坂田 至 1, 岡本 智史 1,2, 田宮 誠司 1,3, 片山 健二 1, 下坂 悦生 1, 浅野 賢治 1 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・種苗管理センター, 3. 農研機構・東北農業研究センター)	10:00
515	システマティックレビューで収集した全国圃場実験データの再解析によるイネ品種の高温登熟性の定量的評価 ○戸田 悠介, 若月 ひとみ, 石郷岡 康史, 長谷川 利拡 (農研機構・農業環境研究部門)	615	ニホンナシ‘凜夏’の低温貯蔵時の維管束褐変および変動遺伝子の解析 ○川東 広幸 1, 羽山 裕子 1, 坂井 寛章 2, 廣瀬 咲子 3, 立木 美保 1 (1. 農研機構・果茶研, 2. 農研機構・高度分析研究センター, 3. 農研機構・生理機能利用研究部門)	715	来歴不明バレイショ品種・系統の Real-time PCR を用いた同定 ☆實友 玲奈, 折山 彩果, 保坂 和良 (帯広畜産大学)	10:15
516	◆座長 長谷川 利拡 (農研機構農業環境研究部門) 高温ストレス耐性候補系統を用いた小麦粉品質調査 ○田中 裕之 1, 真路 友菜 1, 坪井 茉理恵 1, Yasir S. A. Gorafi2,3, Izzat S. A. Tahir3,4, 辻本 壽 4 (1. 鳥取大・農, 2. 京都大・院農, 3. ARC, Sudan, 4. 鳥取大・乾燥地研)	616	◆座長 石川 亮 (神戸大) テンサイ初期生育におけるヘテロシスによる低 pH 耐性獲得の遺伝子発現調節機構の解析 ☆山田 佳奈 1, 小川 絃生 1, 平郡 雄太 1, 松平 洋明 2, 北崎 一義 1 (1. 北海道大学大学院農学研究院 (北大院・農), 2. 農研機構・北海道農業研究センター (北農研))	716	◆座長 赤井 浩太郎 (農研機構・北海道農業研究センター) 葉緑体バンゲノミクスで遡る栽培メロンの起源 ☆鳴田 玄太郎 1, 大熊 眞歩 2, 十河 奈々 3, 清古 貴 4, 武藤 千秋 4, 田中 克典 5, 下村 晃一郎 6, 杉山 充啓 6, 川頭 洋一 6, 江面 浩 1, 内藤 健 4, 友岡 憲彦 4, 加藤 鎌司 2 (1. 筑波大・生命環境, 2. 岡山大・院環境生命自然, 3. 岡山大・院環境生命, 4. 農研機構・遺伝資源研究センター, 5. 弘前大・農生命, 6. 農研機構・野菜花き研究部門)	10:30
517	ソバ自殖系統を用いた熱ストレス関連遺伝子の探索 ☆望月 遼太 1,2, 藤野 介延 2, 志村 華子 2 (1. 農研機構・九沖研, 2. 北大・農学院)	617	Pyramiding root QTLs <i>DRO1</i> and <i>qRL6.1</i> maintains photosynthesis and increases rice yield in paddy fields ☆ Momoha Iba1,2, Yumiko Arai-Sanoh1, Ryokei Tanaka1, Yuka Kitomi1, Shota Teramoto1, Kenji Irie2, Yusaku Uga1 (1. NICS, NARO, 2. Tokyo Univ. Agr.)	717	日本在来のクワは残っているのか? ○松村 英生 1, 平内 海斗 2, 吉信 智史 2, 清水 諒 2, 鈴木 未来 2, 溝口 暁久 2 (1. 信州大・遺伝子, 2. 信州大院・総合理工学)	10:45
518	Identification of salt tolerant maize-wheat (<i>Zea</i> Wheat) and pearl millet-wheat (<i>Cenchrus</i> Wheat) cybrid lines produced through in vitro fertilization system ☆ Farzana Nowroz1, Nonoka Onda1, Aya Satoh1, Takayoshi Ishii2, Takashi Okamoto1 (1. Dept. Biol., TMU, 2. ALRC., Univ. Tottori)	618	Genetic analysis of pre-harvest sprouting resistance by using backcross population from bread wheat × spelt wheat ☆ Lesly Diaz Suarez, Shunsuke Kamizawa, Koki Yoshikawa, Kuma Inoshita, Kazumitsu Onishi (Obihiro U. Agric. & Vet. Med.)	718	日本産品種を中心としたサトイモの遺伝的多様性の解析 ☆飯嶋 佑太 1, 尾関 未帆 2, 三井 裕樹 1 (1. 東農大・院農学, 2. 東農大・ゲノム解析センター)	11:00

9月11日(木) 午前 口頭発表プログラム												
9月11日		第1会場		第2会場		第3会場		第4会場				
11:15	119	カキ品種群における果実形質のゲノム育種研究 ☆堀内 綾乃 1,2, 尾上 典之 3, 松崎 隆介 3, 西村 和紗 2, 白澤 健太 4, 久保 康隆 2, 牛島 幸一郎 2, 赤木 剛士 2, 南川 舞 5 (1. 千葉大・院園芸学研究科, 2. 岡山大・院環境生命自然科学研究科, 3. 農研機構・果茶研, 4. かずさ DNA 研究所, 5. 千葉大・国際高等研究基幹)		219	◆座長 犬飼 義明 (名古屋大) 二種類の不等分裂を介するイネの気孔形成の遺伝的制御機構の解析 ☆味谷 雅之 1, 高梨 秀樹 2, 佐藤 豊 1, 伊藤 純一 2 (1. 国立遺伝学研究所, 2. 東大・院農学生命科学)		319	◆座長 那須田 周平 (京都市大) <i>Triticum-Aegilops</i> 核細胞質置換系統における <i>Rf^{multi}</i> と対応する細胞質雄性不稔遺伝子の単離にむけた取り組み ○辻村 真衣 1, 押川 祐輝 1, 竹中 瑞樹 2, 寺地 徹 3, 竹中 祥太郎 1 (1. 龍谷大・農学部, 2. 京大院・理, 3. 京産大・生命科学)		419	稲作北限地の不安定な気候を利用した表現型可塑性の遺伝子分析の方法 ○伊藤 勇樹 (緑の進化研究室)	
11:30	120	Genome-wide association study of leaf morphological traits in leafy amaranth ○ Sudarti Asri1, Kenta Shirasawa3, Yosuke Yoshioka2 (1. Grad. Sch. Sci. & Tech., Univ. Tsukuba, 2. Inst. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba, 3. Kazusa DNA Research Institute)		220	イネ捻れ葉変異体における葉身の左右非対称性と器官間物理的相互作用による捻れ発生メカニズム ☆曳地 究 1, 岡田 脩平 1, 徳山 芳樹 2, 三浦 誠一郎 1, 田口 みなみ 1, 貴島 祐治 1, 高牟禮 逸郎 1, 小出 陽平 1 (1. 北海道大学大学院 農学院, 2. 国立遺伝学研究所)		320	PHENOTYPIC AND METABOLIC EFFECT OF HYBRID MITOCHONDRIA OF WHEAT AND MAIZE OR PEARL MILLET IN IN VITRO FERTILIZATION-DERIVED WHEAT CYBRIDS ☆ KINGSLEY IKENNA IKPA-AGODO1, RIKI SUGIURA1, NONOKA ONDA2, AYA SATOH2, TETY MARYENTI2,3, NASREIN KAMAL MOHAMED4,5, TAKASHI OKAMOTO2, TAKAYOSHI ISHII4,6,7 (1. Graduate School of Sustainability Science, Tottori University, 2. Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo Metro., 3. Grad. Sch. Math., Univ. Indonesia, 4. IPDRE, Univ. Tottori, 5. Agri. Res. Corp. Sudan, 6. ALRC, Univ. Tottori, 7. Ch. Eng. Res. Univ. Tottori)				
11:45	121	◆座長 白澤 健太 (かずさ DNA 研究所) <i>Oryza</i> 属唯一の塩生植物である <i>Oryza coarctata</i> の異質倍数体化に伴う遺伝的およびエピジェネティック変化 ☆西山 典秀 1, 望月 孝子 1, 坂本 美佳 1, 谷澤 靖洋 1, 津田 勝利 1, 佐藤 (志水) 佐江 1, 吉川 貴徳 2, 稲垣 宗一 3, 中村 保一 1, 豊田 敦 1, 佐藤 豊 1 (1. 国立遺伝学研究所, 2. 京都大学, 3. 東京大学)		221	オオムギ茎葉空間配置の 3D イメージングによる定量化とその遺伝解析への利用 ☆吉川 大智, 西村 和紗, 門田 有希, 加藤 鎌司, 西田 英隆 (岡山大・院環境生命自然)		321	イネ・コムギ細胞質雑種の表現型を制御するミトコンドリアゲノム因子の探索 ☆杉浦 李果 1, 樽谷 英賢 1, 佐藤 綾 2, Tety Maryenti3, 岡本 龍史 2, 石井 孝佳 4,5,6 (1. 鳥取大・院持続性社会創生科学, 2. 東京都立大・院理学, 3. インドネシア大・数学自然科学, 4. 鳥取大・乾燥地研究センター, 5. 鳥取大・乾燥地研究教育機構, 6. 鳥取大・染色体工学研究センター)				
12:00	122	GRAS-Di を用いた低酸素でイネの子葉鞘を伸長させる新規 QTL の同定 ☆平野 羽留 1, 平田 崇視 2, 福田 味佳 2, 深尾 武司 1 (1. 福井県大・院生物資源学, 2. 福井県大・生物資源学)		222	◆座長 最相 大輔 (岡山大・植物研) <i>HvMFT1</i> への標的変異導入によるオオムギの発芽制御 ○久野 裕 1, 山地 奈美 1, 濱岡 美香 1, 佐藤 和広 2 (1. 岡山大・植物研, 2. 摂南大・院農)		322	◆座長 辻村 真衣 (龍谷大) イネ品種 Lebed に由来する顕性の核遺伝子型雄性不稔性原因遺伝子候補の相補性試験 ☆高橋 広大 1, 藤田 悠生 1, 澤村 匡範 1, 岩井 裕子 1, 五十嵐 圭介 1, 風間 智彦 1,2, 森田 竜平 3, 市田 裕之 3, 阿部 知子 3, 鳥山 欽哉 1 (1. 東北大・院農, 2. 現: 九大・院・農, 3. 理研・仁科センター)				
12:15	123	IR24 派生系統における活性化された Mutator トランスポゾン ○石川 隆二 1, 神邊 凌士 1, 一谷 勝之 2,3, エレワラ カンカナンギ エランディ 3, 深井 英吾 4, 福田 善通 5, Lam Dinh Thil (1. 弘大・農生, 2. 鹿大・農, 3. 鹿大・院連合農学, 4. 新潟大・農, 5. 琉球大学農学部)		223	密陽 23 号とアキヒカリのリコンピナント・インプレットラインを用いた脱粒性の量的形質遺伝子座解析 ☆渡真利 隼 1, 小松原 崇 2, ムレン ガラブソン 3, マプト フィリ 3, チンジ モデリ 3, ムサブラ エスター 3, ムセタ ノーラ 3, カムグヤ ローナ 3, ジョブ ジャスチン 3, 福田 善通 1 (1. 琉球大学・農, 2. JICA, 3. ザンビア農業研究所)		323	RT98 型ミトコンドリアの高精度再アセンブリと RNA-seq を用いた CMS 関連 ORF の発現解析 ☆五十嵐 圭介, 鳥山 欽哉 (東北大・院農)				
12:30				224	ヒトツブコムギはなぜ一粒型が選ばれたのか? ○佐久間 俊 1, 中村 木葉里 1, 小磯 千裕 1, 竹中 祥太郎 2, 那須田 周平 3 (1. 鳥取大学農学部, 2. 龍谷大学農学部, 3. 京都大学大学院農学研究科)		324	3 種の野生イネに由来する稔性回復系統の持つ PPR 遺伝子と WA 型細胞質雄性不稔性イネに対する稔性回復効果の比較 ☆小和田 篤熙 1, 五十嵐 圭介 1, 風間 智彦 2, 鳥山 欽哉 1 (1. 東北大・院農, 2. 九州大・院農)				

9月11日（木）午前 口頭発表プログラム						
第5会場		第6会場		第7会場		9月11日
519	<i>Vigna luteola</i> の最上位完全展開葉へのNa ⁺ 流入機構解明に向けて ☆壹岐 友里恵 1, Fanmiao Wang 2, 田野井 慶太郎 3, 4, 内藤 健 2 (1. 東大・院新領域, 2. 農研機構・遺伝資源研究センター, 3. 東大・院農学生命, 4. 福島国際研究教育機構)	619	2倍体野生種イチゴの倍数化による生長の変化 ☆富岡 芳佳, 房 相佑, 黒倉 健, 大西 孝幸 (宇都宮大・地域創生科学)	719	サツマイモ品種の寒地における適応性評価と品質特性 ○石黒 浩二 1, 藏之内 利和 2, 甲斐 由美 3, 原 尚資 1, 大塚 しおり 1, 西中 未央 4, 田口 和憲 4 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・作物研究部門, 3. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 4. 農研機構・中日本農業研究センター)	11:15
						11:30
						11:45
						12:00
						12:15
						12:30

口頭発表 講演番号・座長一覧

会場 日程	第1会場 中ホール	第2会場 104・105	第3会場 107	第4会場 204	第5会場 206	第6会場 207	第7会場 201・202
9月10日 午前	101-103 久野 裕 9:00-9:45	201-204 高梨 秀樹 9:00-10:00	301-304 黒羽 剛 9:00-10:00	401-403 山本 敏央 9:00-9:45	501-503 井上 喜博 9:00-9:45	601-604 山形 悦透 9:00-10:00	701-704 陳 蘭庄 9:00-10:00
	104-106 田中 剛 9:45-10:30	205-208 伊藤 純一 10:00-11:00	305-308 松下 修司 10:00-11:00	404-407 鐘ヶ江 弘美 9:45-10:45	504-507 清水 元樹 9:45-10:45	605-608 北柴 大泰 10:00-11:00	705-707 沼口 孝司 10:00-10:45
	107-109 内藤 健 10:30-11:15	209-211 辻 寛之 11:00-11:45	309-311 佐々木 健太郎 11:00-11:45	408-411 山田 哲也 (農研機構) 10:45-11:45	508-511 宇賀 優作 10:45-11:45	609-611 森 正彦 11:00-11:45	708-711 上床 修弘 10:45-11:45

9月11日 午前	112-114 佐久間 俊 9:30-10:15	212-215 大西 一光 9:30-10:30	312-315 井藤 純 9:30-10:30	412-415 師田 郷太 9:30-10:30	512-515 小林 麻子 9:30-10:30	612-615 高橋 有 9:30-10:30	712-713 風間 智彦 9:30-10:00
	115-117 小野木 章雄 10:15-11:00	216-218 田中 若奈 10:30-11:15	316-318 津釜 大侑 10:30-11:15	416-419 荒木 悦子 10:30-11:30	516-519 長谷川 利拡 10:30-11:30	616-619 石川 亮 10:30-11:30	714-715 門田 有希 10:00-10:30
	118-120 濱崎 甲資 11:00-11:45						716-719 赤井 浩太郎 10:30-11:30
	121-123 白澤 健太 11:45-12:30	219-221 犬飼 義明 11:15-12:00	319-321 那須田 周平 11:15-12:00				
		222-224 最相 大輔 12:00-12:45	322-324 辻村 真衣 12:00-12:45				
9月11日 午後	ポスター発表 14:00-16:00(大ホール)						

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。

第66回シンポジウムプログラム

1日目（9月10日）午後 13:10～17:25

第1会場（中ホール）

気候変動に打ち克つ育種戦略

Strategic crop breeding to combat climate change

主任：辻本 壽（鳥取大・国際乾燥地研究教育機構）

Organizer: Hisashi Tsujimoto (IPDRE, Tottori University)

はじめに Introduction

○辻本 壽（鳥取大・国際乾燥地研究教育機構）

○Hisahi Tsujimoto (IPDRE, Tottori University)

1 気候変動が世界の穀物生産に及ぼす影響の検出と将来見通し

Attribution and future projections of climate change impacts on global crop production

○飯泉 仁之直（農研機構・農業環境研究部門）

○Toshichika Iizumi (Inst. Agro-Environ. Sci., NARO)

2 気候変動が水稻生産に与える影響および育種に向けた課題

Impacts of climate change on rice production and challenges for designing and breeding new varieties

○吉田 ひろえ（農研機構・中日本農業研究センター）

○Hiroe Yoshida (CARC, NARO)

3 植物分子生理学の研究知見と作物育種

Insights from plant molecular physiology for crop breeding

○岡本 昌憲（理研）

○Masanori Okamoto (RIKEN)

4 気候変動緩和策としての作物の生物学的硝化抑制

Biological Nitrification Inhibition (BNI) in crops as a strategy for climate change mitigation

○吉橋 忠（国際農林水産業研究センター）

○Tadashi Yoshihashi (JIRCAS)

5 イネー微生物複合系の最適化による水田からのメタン排出削減

Optimizing rice-microbe interactions to reduce methane emissions from paddy fields

○常田 岳志（農研機構・農業環境研究部門）

○Takeshi Tokida (Inst. Agro-Env. Sci., NARO)

6 新たなバイオマス作物の創出による国際展開

Breeding of novel biomass crops and their international development

○寺島 義文（国際農林水産業研究センター）

○Yoshifumi Terajima (Japan International Research Center for Agricultural Sciences)

7 コムギの高温・乾燥耐性の育種研究で見たもの

What we learned from research on heat- and drought-tolerant wheat breeding

○辻本 壽（鳥取大・国際乾燥地研究教育機構）

○Hisashi Tsujimoto (IPDRE, Tottori University)

8 総合討論

ワークショッププログラム

1 日目 (9月10日) 午後

	第4会場 204	第5会場 206	第6会場 207
	W05 “病原菌”と“宿主”，“植物病理学”と“育種学”，相互作用が生み出す新しい抵抗性育種 Part II “Pathogen” and “Host”，“Plant Pathology” and “Breeding Science”，new resistance breeding created by interaction 企画者：清水 元樹（岩手生物工学研究センター ゲノム育種研究部）， 門田 有希（岡山大・院環境生命自然） 協賛：科研費・国際先導研究 「NLR生物学の基礎的理解による作物耐病性増強」	W01 育種 × オミクス Breeding × Omics 企画者：宇賀 優作（農研機構・作物研究部門）， 師田 郷太（東大・院農学生命科学）	W03 アブラナ科育種の現場知と技術 ― 実践者によるノウハウ共有 Knowledge and techniques in Brassicaceae breeding: practical know-how from experts 企画者：高木 宏樹（石川県立大）， 北柴 大泰（東北大）
13:10	「TALエフェクター認識による抵抗性誘導: イネとトマトにおける <i>Xanthomonas</i> 抵抗性の収斂進化」 Catch a tiger by the TALE: Convergenly evolved resistance against <i>Xanthomonas</i> in rice and tomato <u>Bogdanove Adam Joseph</u> （コーネル大学）	「干ばつ × オミクス: バイオマーカー遺伝子を用いた干ばつストレス診断」 Drought & Omics: Biomarker genes for model-based prediction of drought-stress perception levels in rice <u>川勝 泰二</u> （理研・BRC） 「野生イネ × オミクス：無人フェノタイピングによる乾燥ストレス耐性遺伝子の探索」 Wild rice & Omics: Searching for drought-tolerance genes by unmanned phenotyping <u>相馬 史幸</u> （農研機構・作物研究部門）	「クリック操作でできる！DNAマーカー作成のためのNGSデータ解析ノウハウ」 User-Friendly NGS Data Analysis for DNA Marker Development <u>高木 宏樹</u> （石川県立大） 「温故知新，種属間交雑によるPre-breeding」 「Onkochishin」 Pre-breeding through wide hybridization <u>房 相佐</u> （宇都宮大・農） 「アブラナ科野菜における形質転換技術のノウハウ」 Expertise in Transformation Methods in Brassicaceae Vegetables <u>肥塚 信也</u> （玉川大・農）
13:35 13:40	「病害防除に向けた <i>Rhizoctonia solani</i> 種複合体の理解」 Understanding the <i>Rhizoctonia solani</i> species complex for disease control <u>能年 義輝</u> （岡山大・院環境生命自然）		
13:55 14:00	「根圏常在細菌による植物免疫システムの操作」 Manipulation of the host immune system by root-associated commensal bacteria <u>中野 亮平</u> （北大・院理）		
14:10	「師管吸汁性昆虫に対するイネの宿主抵抗性研究」 Study on host-plant resistance to phloem-sucking insect pests in rice <u>安井 秀</u> （九大・院農）	「圃場試験×オミクス：植物と根圏の情報統合による応答予測」 Field Experiments & Omics: Integrating Plant and Rhizosphere Information to Predict Plant Responses <u>岩田 洋佳</u> （東大・院農学生命科学） 総合討論	
14:25			
14:35			
14:40			
14:45	「耐病性育種に向けたNLRバイオインフォマティクス」 Leveraging NLR Bioinformatics for disease resistance breeding <u>堺 俊之</u> （京大・院農）		
15:00			総合討論
15:05	総合討論		
15:10			

ワークショッププログラム

1 日目 (9月10日) 午後

	第4会場 204	第5会場 206	第6会場 207
	W06 若手研究者による農学的興味の広げ合い第4回 Discovery of new interests by young scientists, 4th 企画者：山森 晃一（岡山大・植物研），古村 翔也（農研機構・作物研究部門），岡田 萌子（新潟大・院自然科学），橋本 舜平（東大・院農学生命科学），工藤 葵（京大・農）	W02 自殖性作物におけるハイブリッド育種の可能性について考える Exploring the potential of hybrid breeding in self-pollinating crops 企画者：久保山 勉（茨城大・農）	W04 データ解析の「落とし穴」～あなたのその解析、大丈夫ですか？～ Pitfalls in data analysis: Is your analysis really sound? 企画者：濱崎 甲資（理研・革新知能統合研究センター），南川 舞（千葉大・国際高等研究基幹）
15:25	「コムギにおける Mutagenesis を利用した有用形質の創出」 Creation of useful traits in wheat using mutagenesis 古村 翔也（農研機構・作物研究部門）	「はじめに」 Introduction 久保山 勉（茨城大・農）	「育種への機械学習モデル適用における落とし穴」 Pitfalls in the application of machine learning to breeding 濱崎 甲資（理研・革新知能統合研究センター）
15:28		「スタートアップ企業によるハイブリッドライス普及への挑戦」 The challenge of popularizing hybrid rice varieties by start-up company 地主 建志（（株）水稻生産技術研究所）	「RNA-seqの落とし穴」 Pitfalls in RNA-seq 石森 元幸（東京農業大・農）
15:35			
15:50	「「PCRってどうやるの？」から始まる、植物オルガネラゲノム編集技術開発とその利用展開」 Development and application of methods for editing the plant organellar genomes, starting from "How to conduct PCR?" 中里 一星（東大・院農学生命科学）	「ハイブリッドコムギは人類を救うのか？」 Will hybrid wheat save humanity? 村井 耕二（福井県大・創造農学）	「ゲノム解析の落とし穴」 Pitfalls in Genome Analysis 鐘ヶ江 弘美（農研機構・作物研究部門，農研機構・農業情報研究センター）
15:53			
16:05			
16:13	「めぐりめぐってバイオマス：「食べない」作物の育種学研究と私のキャリアパス」 Ultimately, biomass: My career path and research on agronomic traits in "non-food" crops 橋本 舜平（東大・院農学生命科学）	「ハイブリッドライス育種におけるCW型細胞質雄性不稔性の有用性」 Advantages of CW-type cytoplasmic male sterility for hybrid rice breeding 島山 欽哉（東北大・院農）	「2D/3Dデータ解析の（周辺にありそうな）落とし穴」 Pitfalls in and around 2D/3D data analysis 野下 浩司（九州大学・院理）
16:15			
16:20			
16:33	「植物の個体間相互作用に関する生態遺伝学」 Ecological genetics of intraspecific plant-plant interactions 佐藤 安弘（北大・環境）	「栽培イネの亜種間交雑における雑種不稔の克服」 Overcoming hybrid sterility in intersubspecific crosses of <i>Oryza sativa</i> 久保 貴彦（九大・院農）	「果樹のGS・GWAS研究を通して見つけた落とし穴」 Pitfalls in genomic prediction and genome-wide association studies in fruit trees 南川 舞（千葉大・国際高等研究基幹）
16:35			
16:40			
16:50	総合討論	「遺伝分散の解釈の落とし穴」 Pitfalls in interpreting genetic variance 小野木 章雄（龍谷大・農）	総合討論
16:53			
17:08			
17:10	総合討論	「組み合わせ能力に関する一考察：イネの雑種でみられる負のエピスタシスについて」 Revisiting combining ability: The role of negative epistatic interaction in rice hybrids 久保山 勉（茨城大・農），一谷 勝之（鹿児島大・農）	総合討論
17:25		総合討論	

ポスター発表プログラム (9月11日)

奇数番号 14:00-15:00 偶数番号 15:00-16:00 (札幌コンベンションセンター大ホール)

01. 育種法・育種技術 (Breeding method・Breeding technology)

P101 独自のプラスミドセットと簡便高密度水耕栽培法による多重ゲノム編集イネの効率的作出と形質評価

○黒田 昌治, Hyungjun Park, 千葉 桃子, 及川 鉄男 (農研機構・生物研)

P102 ホウ素中性子捕捉反応を利用した新たな変異育種法の開発に向けたイネ種子における条件検討

○瀬上 修平¹, 木野内 忠稔², 服部 能英³, 切畑 光統³ (1. 大阪環水研, 2. 京大複合研, 3. 大阪公大・BNCT 研究センター)

P103 重イオンビーム照射サツマイモにおけるポリフェノール変異体の選抜

○奈良迫 洋介^{1,2}, 山村 実央³, 瀬戸口 優乃¹, 竹下 稔³, 阿部 知子⁴, 平野 智也^{3,4}, 大谷 基泰⁵, 國武 久登³ (1. 宮崎大・院農工, 2. (株)くしまアオイファーム, 3. 宮崎大農, 4. 理研・仁科センター, 5. 石川県大学生資工研)

P104 深層学習を用いたエゾノギンギン検知モデル開発における学習データセットの検討

○鉄田 健人¹, 黒木 康士朗¹, 牧島 美夢¹, 八木 隆徳², 宮地 慎², 眞田 康治², 高原 美規³, 秋山 征夫² (1. 長岡技科大・院物質生物工学, 2. 農研機構・北海道農業研究センター, 3. 長岡技科大・物質生物系)

P105 トランスクリプトームと気温データを用いたチャ冬芽の休眠・萌芽推移の解析

☆植田 哲仁¹, 大貫 真弥¹, 川木 純平², 永野 惇^{3,4}, 一家 崇志^{1,5,6}, 山下 寛人^{1,5,6} (1. 静大・院農, 2. 静岡県・茶研, 3. 名大・生物機能開発利用研究センター, 4. 慶應大・先端生命大, 5. 静大・グリーン研, 6. 静大・ティーサイエンス研)

P106 深層学習を用いたハクサイ表現型測定による遺伝子探索の試み

☆神林 友輔¹, 小林 義明¹, 松村 英生², 林田 信明³ (1. 信州大学大学院・総合理工学研究科, 2. 信州大学・遺伝子実験支援部門, 3. 信州大学・繊維学部)

P107 NGS-ACT: 次世代シーケンサー由来ショートリードを用いたアリル判定ツール

☆大石 陸月, 高田 茉莉奈, 酒本 未希, 吉住 允秀, 原 蒔士, 高木 宏樹 (石川県立大学)

P108 多形質・多環境データにおける表現型値補完及び育種価予測手法の比較

☆木南 綾子, 小野木 章雄 (龍谷大・院農学)

P109 トリフルオロメタンスルホンアミド (TFMSA) を用いた作物の除雄法の開発: プロリン輸送およびフェニルプロパノイド合成経路の阻害を介した雄性不稔の誘導

☆関口 結佳^{1,2}, 寺田 晃盛³, 燕 高¹, カマル ナスリン モハメド^{4,5}, 石井 孝佳^{5,6,7} (1. 鳥取大・連合農学研究科, 2. 日本学術振興会特別研究員 DC, 3. 鳥取大・院持続性社会創生科学研究科, 4. スーダン農業研究機構, 5. 鳥取大・国際乾燥地研究教育機構, 6. 鳥取大・乾燥地研究センター, 7. 鳥取大・染色体工学研究センター)

P110 植物 DNA 二本鎖切断修復における Ca イオンの影響

☆江守 祐汰郎¹, Sanjaya Alvin¹, 坂口 実夢¹, 高城 啓一², 風間 裕介¹ (1. 福井県大・生物資源, 2. 若エネ研・生物資源)

02. 品種育成・遺伝資源 (Breeding・Genetic Resource)

P111 半糯性を有する多収性自殖新品種「ゆみはりづき」、および、非感光性型改良 NIL の育成

○地主 建志 ((株) 水稻生産技術研究所)

P112 トコフェロール生合成関連遺伝子の集積によるダイズのトコフェロール組成改善

☆CHEOLWOO PARK, 許 東河 (国際農林水産業研究センター)

P113 DNA マーカーを利用した「さぬきの夢 2023」の品種判別

☆植田 早紀, 多田 祐真 (香川県農業試験場)

P114 北海道における秋播き二条ビールオオムギ開発の可能性研究

○時園 佳朗¹, 中野 友貴², 柴村 明宏¹, 鯉江 弘一朗¹, 長嶺 敬², 保木 健宏¹ (1. サッポロビール株式会社 原料開発研究所, 2. 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター北陸研究拠点)

P115 オオムギ系統集団におけるイオノームの遺伝的多様性の解析

☆丹羽 祐麻¹, 清田 明那¹, 一家 崇志^{1,2}, 中野 友貴³, 山下 寛人^{1,2} (1. 静大・院農, 2. 静大・グリーン研, 3. 農研機構・中日本農研)

P116 NBRP・コムギ遺伝資源の事業紹介: 一層の発展を目指して

○太田 敦士, 新田 みゆき, 那須田 周平, 吉田 健太郎, 堺 俊之, 寺内 良平 (京大院・農)

P117 Exploring the Genetic Diversity and Population Patterns in Asian Cowpea (*Vigna unguiculata* (L.) Walp.)

☆ Ngozi Paulinus Ofem¹, Nasrein Mohamed Kamal^{2,3}, Sofie Pearson⁴, Tracey Shatte⁵, David Jordan⁴, Emma Mace⁴, Takayoshi Ishii^{2,6,7} (1. Grad. Sch. Agric. Sci., Tottori Univ., 2. Int. Platf. Dryl. Res. & Educ., Tottori Univ., 3. Biotechnol. & Biosaf. Res. Cent., Agric. Res. Corp., Sudan, 4. Qld. Alliance Agric. & Food Innov., Univ. Qld., Hermitage Res. Facil., Australia, 5. Qld. Dept. Prim. Ind., Hermitage Res. Facil., Australia, 6. Arid Land Res. Cent., Tottori Univ., 7. Chromosome Eng. Res. Cent., Tottori Univ.)

P118 葉緑体 DNA の多型解析に基づく日本の青苧の系統解析

緒方 留実¹, 齋藤 恵太¹, ☆山田 康生¹, 村上 弘子², 笹沼 恒男¹ (1. 山形大・農, 2. 青苧復活夢見隊)

- P119 長野県阿南町に自生するニコウキスゲ（ゼンテイカ）の遺伝的特徴の解明**
☆岡田 華那 1, 齋藤 乃亜 2, 玉川 加奈 1,2, 佐藤 結紀 2, 長船 裕紀 3, 菅原 翼 3, 岸本 誠司 3,4, 笹沼 恒男 1,2 (1.山形大・院農, 2.山形大・農, 3.鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会, 4.東北工大・ライフデザイン学部)
- P120 *Brassica rapa* における極晩抽性導入の迅速化に向けた中間母本の育成**
☆清水 さとみ, 原 蒔土, 宮本 海征, 吉住 允秀, 高木 宏樹 (石川県立大学)
- P121 日本のダイズ品種への米国成熟期指標の導入の検証**
☆中嶋 健太 1,2, 竹島 亮馬 2, 平田 香里 2, 山崎 諒 2, 和田 朋美 2, 加藤 信 2 (1.農研機構・九州沖縄農業研究センター, 2.農研機構・作物研究部門)
- P122 大規模言語モデルによるイネ表現型予測の精度評価：育種・農業共済データの活用**
☆福本 勇太 1, 磯道 駿介 1, 佐藤 睦志 2, 阿部 陽 3, 佐藤 越 1, 金 天海 4,5, 中谷 朋昭 1, 下野 裕之 4, 岩田 洋佳 1 (1.東京大・院農学生命科学, 2.夷風凜凜, 3.岩手生物工学研究センター, 4.岩手大学, 5.Sky Ocean Technology Co., Ltd.)
- P123 ザンビアのイネ遺伝資源の乾物生産における遺伝変異**
大城 和輝 1, 佐藤 雅志 2, 鳥山 欽哉 2, 小松原 崇 3, ムレンガラブソン 4, ムンコブエ グライビル 4, マプト フィリ 4, チンジ モデリン 4, ムサブラ エスター 4, ムセタ ノーラ 4, カムグヤ ローナ 4, ジョブ ジャスチン 4, ○福田 善通 1 (1.琉球大学・農, 2.東北大学・院農, 3.JICA, 4.ザンビア農豪研究所)
- P124 イネ栽培化において種子の非脱粒性を導いた離層形成阻害の組織形態学的観察**
☆松原 直大 1, 杉山 昇平 1, 作田 幹樹 1, 辻村 雄紀 1, 井上 千鶴 1, Htun Than Myint 1, 沼口 孝司 1, 那須 浩郎 2, 石井 尊生 1, 石川 亮 1 (1.神戸大・院・農学, 2.岡山理大・基盤教育セ)
- P125 野生イネ (*Oryza rufipogon*) が持つ種子の色素の役割について**
☆古田 裕大, 岩本 光夢, 沼口 孝司, 石川 亮, 石井 尊生 (神戸大・院農学)
- P126 γ線照射したヤーコン品種「アンデスの乙女」の M₁V₅ 世代における特性評価**
赤城 正崇 1, 奥野 元輝 1, 大江 一生 2, 平田 真理 2, 村田 達郎 1, 安田 伸 1,2, 増田 優 1,2, ○松田 靖 1,2 (1.東海大学大学院 農学研究科, 2.東海大学 農学部 農学科)
- P127 ベラルゴニジン型アントシアニンを含むサツマイモ品種に見られる flavonoid 3'-hydroxylase 遺伝子の変異**
○田中 勝, 境垣内 岳雄, 倉田 理恵, 末松 恵祐, 境 哲文, 高畑 康浩 (農研機構・九沖研)
- P128 山形県大江町における伝統作物「青苧」が地域貢献に果たす役割について**
緒方 留実 1, ☆長澤 恵里奈 1, 村上 弘子 2, 笹沼 恒男 1 (1.山形大・農, 2.青苧復活夢見隊)

03. ゲノム解析・ゲノム育種 (Genomic analysis・Genome-based breeding)

- P129 水稻の CO₂ 同化能力強化に向けた大規模 GWAS 集団の構築**
☆菅波 眞央 1, 飛田 結衣 2, 石崎 蒼太 3, 本田 爽太郎 2, 中嶋 洸太 4, 森 進之介 5, 石田 宏幸 5, 松岡 信 1, 安達 俊輔 2, 田中 佑 4 (1.福島大・発酵研, 2.農工大・院農, 3.岡山大・農, 4.岡山大・院生命科学, 5.東北大・院農)
- P130 国産大豆品種のパンゲノム解析とゲノム情報基盤の構築**
○矢野 亮一 1, 李 鋒 2, 平賀 勸 2, 竹島 亮馬 2, 小林 光智衣 3, 加賀 秋人 2, 石本 政男 2 (1.農研機構・分析研, 2.農研機構・作物研, 3.農研機構・生物研)
- P131 国産ダイズ品種エンレイ高密度変異体ライブラリの全ゲノムリシーケンス解析、および遺伝子変異の探索プラットフォーム開発**
○平賀 勸 1, 矢野 亮一 2, 中田 隆 1, 李 鋒 1, 加賀 秋人 1, 穴井 豊昭 3, 石本 政男 1 (1.農研機構・作物研, 2.農研機構・分析研, 3.九州大・院農)
- P132 ホウレンソウにおける高品質リファレンスゲノムおよび VIGS 系に基づく効率的な機能ゲノミクス基盤の構築**
☆柚木 創太 1, Yue Wu 1, 平川 英樹 2, 増田 税 3, 小野寺 康之 3 (1.北海道大学農学院, 2.九州大学大学院農学研究院, 3.北海道大学大学院農学研究院)
- P133 日本在来大麻のドラフト全ゲノムシーケンスの構築**
☆眞玉橋 将央 1,3, 長屋 風希 1,3, 大平 慧真 2,3, 岡本 明美菜 2,3, 長屋 祐一 2,3, 大山 暁男 1,3, 諏訪部 圭太 1,3 (1.三重大・院地域イノベーション, 2.三重大・院生物資源, 3.神事・産業・医療用大麻研究センター)
- P134 DNA Marker Development for Plant Height in Grain Amaranth (*Amaranthus hypochondriacus*)**
☆ Ahmad Zaelani 1, Yosuke Yoshioka 2 (1.Grad. Sch. Science & Tech., Univ. Tsukuba, 2.Inst. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba)
- P135 Genetic analysis of resistance to highly virulent strains of *Corynespora cassicola* in cucumber**
☆ MINH HO THI 1, Sachiko ISOBE 2, Kenta SHIRASAWA 2, Yosuke YOSHIOKA 3 (1.Grad. Sch. Science & Tech., Univ. Tsukuba, 2.Kazusa DNA Research Institute, 3.Inst. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba)
- P136 Enhanced Drought Resilience in Rice Through Post-Drought Root Emergence**
Lukas Krusenbaum 1, Risa Sakusabe 2, Ryuji Ishikawa 2, Matthias Wissuwa 1, ○ Thi Lam Dinh 2 (1.Institute of Crop Science and Resource Conservation (INRES), University of Bonn, 2.Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University)
- P137 Fine-mapping of QTL regulating plant height in azuki bean (*Vigna angularis*)**
☆ Trong Minh Nhat Nguyen 1, Yuuki Horiuchi 2, Hidetaka Nagashawa 2, Cornelius Wainaina 3, Paul Bethke 4, Masahiko Mori 1 (1.Obihiro Univ. Agr. Vet. Med., 2.Tokachi Agri. Exp. Sta., HRO, 3.Jomo Kenyatta Univ. Agr. Tec., 4.USDA, USA)

- P138 野生イネ *Oryza rufipogon* における匍匐茎形成能力に関する遺伝子座の評価**
 ☆木村 有喜, 阿部 大樹, 森 由香里, 沼口 孝司, 石川 亮, 石井 尊生 (神戸大・院・農学)
- P139 野生イネを用いた稈長に関する特性調査と遺伝解析**
 ☆鈴木 陸司¹, 加藤 見虹², 高橋 宏和¹, 中園 幹生¹, 吉川 貴徳³, 佐藤 豊⁴, 縣 歩美¹ (1. 名大院生命農学, 2. 名大農, 3. 京大院農, 4. 国立遺伝学研究所)
- P140 カラマツ連年着花系統を用いた雌花着花に関わる原因遺伝子の探索**
 ○三嶋 賢太郎¹, 白澤 健太², 井城 泰一¹, 平川 英樹³, 平尾 知士¹, 小長谷 賢一⁴, 福田 陽子¹ (1. 森林総合研究所 林木育種センター, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 九州大学, 4. 森林総合研究所 林木バイオセンター)
- P141 水稻品種「密陽 44 号」の斑点米カメムシ抵抗性に関する遺伝解析**
 ○中村 充¹, 都築 雅美¹, 小梶 裕之², 山口 寛登¹, 杉浦 和彦¹, 吉田 朋史³, 加藤 周平¹, 森 賢一郎¹, 大橋 博子¹, 山内 歌子⁴, 福岡 修一⁴, 正村 純彦⁴, 福田 至朗¹, 水上 優子^{1,5} (1. 愛知県農業総合試験場, 2. グランドグリーン (株), 3. 愛知農総試山間農研, 4. 農研機構, 5. 愛知県農業振興課)
- P142 ニホンナシみつ症感受性に関する QTL 解析および重症化リスク評価が可能な DNA マーカーの選定**
 田辺 岳海¹, 梶山 康平¹, 白澤 健太², ○郷内 武¹ (1. 茨城農総生工研, 2. かずさ DNA 研)
- P143 Genetic study on nitrogen use efficiency of *Aegilops tauschii*-derived wheat populations under combined heat and nitrogen deficiency stress**
 ☆AMIR IBRAHIM ISMAIL EMAM^{1,2}, Izzat Sidahmed Ali Tahir^{2,3}, Nasrein Mohamed Kamal^{2,3}, Yasir Serag Alnor Gorafi^{2,4}, Hisashi Tsujimoto⁵, Takayoshi Ishii^{3,5,6} (1. United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2. Agricultural Research Corporation (ARC), P.O. Box 126, Wad Medani, Sudan, 3. International Platform for Dryland Research and Education (IPDRE), Tottori University, 4. Graduate School of Agriculture, Kyoto University, 5. Arid Land Research Center (ALRC), Tottori University, 6. Chromosome Engineering Research Center, Tottori University)
- P144 Objective Image-Based Evaluation of Perilla Leaf Curling and Subsequent QTL and GWAS for Gene Association Analysis**
 ☆Tunghsin Chen¹, Sei Kinoshita¹, Kengo Sakurai¹, Takahiro Tsusaka², Miki Sakurai^{2,3}, Kenta Shirasawa⁴, Sachiko Isobe^{1,4}, Hiroyoshi Iwata¹ (1. Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, 2. TSUMURA & CO., 3. LAO TSUMURA CO., LTD, 4. Kazusa DNA Res. Inst.)
- P145 合成六倍体コムギの自殖第 1 世代で観察された生育不全形質の遺伝解析**
 ☆中西 爽太郎¹, 西村 和紗¹, 中崎 鉄也^{2,3}, 門田 有希¹, 加藤 鎌司¹, 西田 英隆¹ (1. 岡山大・院環境生命自然科学, 2. 京都大・院農学, 3. 京都大・成長戦略本部)
- P146 遺伝子型の欠測値の補完によるトウジンビエの GWAS の改善**
 ☆神原 昂太¹, Gupta Shashi Kumar², 津釜 大侑¹ (1. 東大院・農学生命科学, 2. 国際半乾燥熱帯作物研究所)
- P147 ゲノム編集による雄性不稔キクタニグクの作出**
 ○松下 修司¹, 中野 道治², 長久 逸¹, 蔵尾 公紀¹, 藤田 綾音¹ (1. 広島総研・農業技術センター, 2. 高知大・農林海洋)
- P148 シロイヌナズナにおける新規の相同組換え評価系の構築**
 ☆浅川 朋香¹, 遠藤 真咲², 土岐 精一^{1,3,4}, 雑賀 啓明² (1. 龍谷大・院農, 2. 農研機構 生物研, 3. 横浜市大・院生命ナノ, 4. 横浜市大・木原生研)
- P149 アグロバクテリウムの *Typell* 分泌システムを介した植物細胞へのタンパク質輸送**
 ☆富士原 昂大¹, 光原 一朗², 遠藤 真咲², Mysore Kiran³, 土岐 精一^{1,4,5} (1. 龍谷大・院農学, 2. 農研機構 生物研, 3. オクラホマ大学・生化学・分子生物, 4. 横浜市大・木原生研, 5. 横浜市大・院生命ナノ)
- P150 デジタル育種の実現に向けたゲノム育種データベースの構築**
 ☆弓矢 誠, 坊農 秀雅 (広島大学・院統合生命)
- P151 「アマキビ」の遺伝解析に向けた日本在来ソルガムの集団構造解析**
 ☆岡田 聡史¹, 久我 広太郎², 中村 (荒木) 聡子¹, 篠原 (大前) 梢¹, 佐塚 隆志¹ (1. 名大・生物セ, 2. 名大・院生命農学)
- P152 ゲノミック予測によるチャ交配後代集団の形質分離評価**
 ☆柴田 芽依¹, 石黒 雄大², 川木 純平³, 永野 惇^{4,5}, 山下 寛人^{1,2,6,7}, 一家 崇志^{1,2,6,7} (1. 静大・院農, 2. 岐大・連農, 3. 静岡県・茶研, 4. 名大・生物機能開発利用研究センター, 5. 慶應大・先端生命大, 6. 静大・グリーン研, 7. 静大・ティーサイエンス研)

04. 遺伝子機能 (Gene function)

- P153 イネの撥水性に関わる 4 つのワックス合成遺伝子の機能解析**
 ☆朱 恬, 平岩 飛鳥, 相賀 沙織, 伊藤 純一 (東大・院農学生命科学)
- P154 *Fragaria* × *ananassa* における四季成り性原因遺伝子領域の絞り込みおよび当該領域の遺伝子型が初期生育におよぼす影響**
 ☆吉住 允秀, 町 優花, 西谷 拓海, 原 詩士, 高木 宏樹 (石川県立大学)
- P155 *SD1* 遺伝子の転写開始点近傍に存在する保存性非コード配列を標的としたゲノム編集によるイネ草丈の段階的制御**
 ○黒羽 剛¹, パク ヒョンジュン¹, 岩崎 航², チェチュエトカ スベトラーナ¹, 木水 真由美¹, 川原 善浩³, 林 敬子¹, 早野 由里子¹, 牧野 能士², 吉田 均¹ (1. 農研機構・生物研, 2. 東北大・生命科学, 3. 農研機構・分析研)
- P156 オオムギ穀粒のプロアントシアニン蓄積を制御する bHLH 型転写因子 HvTT8 の同定**
 ○中野 友貴¹, 中田 克², 山川 博幹³, 塔野岡 卓司⁴, 前島 秀和⁵, 長嶺 敬¹ (1. 農研機構・中日本農業研究センター, 2. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 3. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 4. 農研機構・本部, 5. 長野県農業試験場)

- P157 Shoot Apical Meristem Bombardment Enables Stable In Planta Transformation in Pearl millet (*Pennisetum glaucum* L.)**
 ☆ Grace Emmanuel Arikpo¹, Yoshida Kentaro², Takayoshi Ishii^{3,4,5} (1.United Graduate School of Agricultural Sciences (UGSAS) Tottori University, 2.Graduate School of Agriculture, Kyoto University, 3.International Platform for Dryland Research and Education (IPDRE), Tottori University Arid Land Research Center, 4.Tottori University, 5.Chromosome Engineering Research Center, Tottori University)
- P158 バヒアグラスにおけるリグニン生合成に関わる CAD 遺伝子のゲノム編集— F1 ヌル分離個体における k-mer 解析と CAD 変異遺伝子座の F2 世代での固定—**
 ○権藤 崇裕¹, 山田 萌瑛² (1.宮崎大・フロンティア, 2.宮崎大・農)
- P159 イネ LHCI 四重欠損変異体の分子遺伝学的解析**
 ☆山谷 浩史¹, 小澤 真一郎², 高見 常明², 坂本 亘², 草場 信³ (1.QST・高崎研, 2.岡山大学・植物資源研, 3.広島大院・統合生命)
- P160 iPB-RNP 法を用いたゲノム編集によるダイズ AGPase 遺伝子変異体の作出と解析**
 ☆小川 泰生, 藤井 健一郎, アキリ 亘, 今井 亮三 (農研機構・生物機能利用研究部門)
- P161 パンコムギ転写因子 SHP のゲノム編集系統の作出**
 ☆櫻井 涉敬, 川野 希美, 迫口 瑛夢得, 神谷 容子, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)
- P162 二条オオムギ「はるか二条」の六条変異系統の単離と六条変異遺伝子の集積効果**
 ○中田 克, 平 将人, 谷中 美貴子, 清水 浩晶 (農研機構・九沖研)
- P163 カブ品種「アカマル」および「日野菜」におけるアントシアニン蓄積の光依存性の差異に関する遺伝解析と DNA 修飾状態の比較**
 ☆宮本 海征, 瀬川 天太, 原 蒔士, 酒本 未希, 高木 宏樹 (石川県立大学)
- P164 シロイヌナズナのミトコンドリア分裂変異体のミトコンドリア形態観察解析**
 ☆橋本 将, 伊藤 雄吾, 中里 一星, 高梨 秀樹, 有村 慎一 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- P165 イネの葉身への Na 蓄積を制御する QTL の特性評価**
 ○堀江 智明¹, 坂上 陽菜¹, 石川 亮², 石井 優稀¹, 松村 英生³, アマラシーン プリヤ⁴, 且原 真木⁵, 石井 尊生² (1.信州大・繊維・応用生物, 2.神戸大・院・農学, 3.信州大・院総合理工学, 4.穀豆・油料作物センター, 5.岡山大・植物研)

05. オミクス・データベース (Omics・Database)

- P166 RNA-seq 解析によるカンキツ果実の剥皮性と硬度の候補遺伝子の探索**
 ☆高田 滉平¹, 野中 圭介², 清水 徳朗^{2,3}, 南川 舞⁴ (1.千葉大・院園芸, 2.農研機構・果樹茶業研究部門, 3.かずさ DNA 研究所, 4.千葉大・国際高等研究基幹)
- P167 パンコムギ端部動原体染色体系統群におけるトランスクリプトーム解析**
 ☆井元 洸志, 西嶋 遼 (福井県大・院・生物資源)
- P168 アズキにおけるゲノムワイドな LOX 遺伝子ファミリーの特定と種子特異的に発現する LOX 遺伝子の特定**
 ☆岩山 大介^{1,2}, 堀内 優貴³, 磯部 享¹, 森 正彦², 加藤 清明² (1.(株)十勝大福本舗, 2.帯畜大, 3.道総研十勝農試)
- P169 萌芽時期の異なるチャ品種群における冬芽の植物ホルモン内生量および発現解析**
 ☆山田 真理子¹, 大貫 真弥¹, 川木 純平², 小嶋 美紀子³, 竹林 裕美子³, 榊原 均^{3,4}, 永野 惇^{5,6}, 一家 崇志^{1,7,8}, 山下 寛人^{1,7,8} (1.静大・院農, 2.静岡県・茶研, 3.名大・生物機能開発利用研究センター, 4.慶應大・先端生命大, 5.理研・CSRS, 6.名大・院生命農, 7.静大・グリーン研, 8.静大・ティーサイエンス研)
- P170 北海道のイネ品種間で見出された種子貯蔵タンパク質量の差異に関わる遺伝領域**
 ☆山口 真琴¹, 穴戸 恵¹, 飯塚 咲月¹, 吉川 晶子¹, 若林 妙恵¹, 春日 純¹, 尾崎 洋人², 加藤 清明¹ (1.帯広畜大, 2.道総研上川農試)
- P171 ジャポニカ型栽培イネにおける栽培化および品種改良関連突然変異の発生年代推定**
 ○小柳 香奈子¹, 川原 善浩², 周 止桐³, 渡邊 日出海¹ (1.北大・情報科学研究院, 2.農研機構・高度分析研究センター, 3.北大・情報科学院)
- P172 合成および在来 *Brassic napus* における同祖染色体間組換え箇所の比較**
 ☆原 蒔士¹, 岡崎 桂一², 瀬川 天太¹, 宮本 海征¹, 吉住 允秀¹, 高木 宏樹¹ (1.石川県立大学, 2.新潟大学 農学部)

06. 抵抗性・耐性 (Resistance・Tolerance)

- P173 サツマイモにおけるポリフェノールと基腐病との関係**
 ☆瀬戸口 優乃¹, 奈良迫 洋介^{1,2}, 平野 智也³, 大谷 基泰⁴, 國武 久登³ (1.宮崎大・院農工, 2.(株)くしまアオイファーム, 3.宮崎大農, 4.石川県大生資工研)
- P175 遺伝子量変化がもたらすコムギのいもち病抵抗性の量的変動**
 Vy Trinh, ○井上 喜博, 吉田 健太郎 (京都大院農)
- P176 北海道の水稲品種が有する幼苗期の順化型低温耐性の評価と量的形質遺伝子座の検出**
 ○提箸 祥幸 (農研機構 生物機能利用研究部門)
- P177 サツマイモにおける内部褐変症の発生要因の解析**
 ○前田 哲¹, 横谷 尚起², 山崎 るな¹, 大橋 俊子¹ (1.茨城県農業総合センター 農業研究所, 2.かずさ DNA 研究所)

- P178 節水型コムギ系統のタンパク質リン酸化制御の解明に向けたマルチオミクス解析**
平田 駿一郎 1, 山下 昂太 2, 梅澤 泰史 2, 金 俊植 3, 賛田 晃広 1, 辻本 壽 4, ○妻鹿 良亮 1 (1. 山口大・院創成科学, 2. 農工大・院・BASE, 3. 理研・CSRS, 4. 鳥取大・乾燥地研)
- P179 RBOHF を欠損したシロイヌナズナ変異体の熱・乾燥および熱・乾燥複合ストレス条件に対する応答**
☆振原 菜菜 1, 鈴木 伸洋 2 (1. 上智大学院 理工学研究科, 2. 上智大学 理工学部)
- P180 熱・乾燥複合ストレス条件下におけるシロイヌナズナ sid2-1 変異体の ROS 制御機構および葉緑体シグナルの解析**
☆日高 滉大 1, 鈴木 伸洋 2 (1. 上智大学院・理工学研究科, 2. 上智大学・理工学部)
- P181 短時間熱ストレスの記憶におけるシロイヌナズナ RBOHD の役割の解析**
☆鷺見 知夏 1, 鈴木 伸洋 2 (1. 上智大学院 理工学研究科, 2. 上智大学 理工学部)
- P182 イネの根の内皮における通過細胞のパターン形成に関与する植物ホルモンの同定**
☆横井 遥佳 1, 野下 浩司 2, 山内 卓樹 3 (1. 名大・農学, 2. 九大・理学研究院, 3. 名大・生物機能開発利用研究センター)
- P183 ムギ類におけるアクアポリンの倍数性進化による変化**
☆森谷 光 1, 江副 晃洋 2, 神谷 容子 1, 川浦 香奈子 1 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 理研・CSRS)
- P184 熱ストレスに対するシロイヌナズナ全身獲得抵抗性制御におけるユビキチン化および熱応答転写因子の役割**
☆松本 綾奈 1, 鈴木 伸洋 2 (1. 上智大学院 理工学研究科, 2. 上智大学 理工学部)
- P185 異なる土壌 pH と低肥料条件が稲わらと玄米中の元素蓄積に関わる QTL の検出に及ぼす影響**
張 乾 2, 古田 智敬 1, 柏原 亮成 1, 小川 大輔 3, 米丸 淳一 4, 馬 建鋒 1, ○山本 敏央 1 (1. 岡山大・植物研, 2. 岡山大・院・環境生命自然, 3. 農研機構・作物研, 4. 農研機構・農情研)
- P186 Response of Arabidopsis Deficient in Reactive Oxygen Species Producing Enzyme, RBOHD to Salt, Waterlogging, and Combined Stress**
☆ Yosei Taniguchi1, Nobuhiro Suzuki2 (1.Grad. Sch. Sci. Tech., Sophia Univ., 2.Fac. Sci. Tech., Sophia Univ.)
- P187 イネ C-Raf キナーゼの通期組織形成における役割の調査**
☆清宮 唯矢, 篠澤 章久, 伊澤 かな, 中村 進一 (東農大・院・バイオ)
- P188 アブラナのエチレンと ABA を介した低酸素応答に関する解析**
☆玉井 陽日 1, 横内 望美 1, 高橋 宏和 2, 中園 幹生 2, 伊澤 かな 1, 中村 進一 1, 篠澤 章久 1 (1. 東農大・バイオ, 2. 名大院・生命農)

07. 収量・品質 (Yield・Quality)

- P189 ダイズ新品種「そらたかく」の狭畦栽培条件における機械化栽培適性の評価**
○猿田 正恭 1, 加藤 宏幸 1, 川崎 洋平 2, 高田 吉丈 1 (1. 農研機構・西日本農業研究センター, 2. 農研機構・作物研究部門)
- P190 高温・乾燥環境下におけるサツマイモの収量性と干しいものシロタ発生率の品種間差**
☆鴻巣 遥香 1, 西中 未央 2, 吉岡 洋輔 3, 田口 和憲 2 (1. 筑波大・院理工情報生命, 2. 農研機構・中日本農業研究センター, 3. 筑波大・生命環境系)
- P191 茨城県における高温登熟条件下での玄米品質の品種間差**
○鈴木 雄一, 石川 春香, 中野 月音, 秋田 和則, 岡野 克紀, 平山 正賢 (茨城県農総セ・生工研)
- P192 低温糊化性ソバの開発における、SBE の性状解析**
☆勝田 瑞皐, 鈴木 達郎, 勝 賢二郎 (農研機構・九州沖縄農業研究センター)
- P194 こめ油増産に向けたリパーゼ遺伝子のプロモーターおよびコード領域変異株の作出と解析**
桑原 康介, 浦川 めぐみ, 鳥山 欽哉, ○伊藤 幸博 (東北大・農)
- P195 ウラルカンゾウのクローン系統を用いた薬効成分含有量に関する遺伝性評価**
○津坂 宜宏 1, 櫻井 美希 1,2 (1. 株式会社ツムラ, 2.LAO TSUMURA CO.,LTD)
- P196 イネの収量と種子亜鉛濃度のトレードオフ関係**
☆片岡 仁史 1, 宮崎 直哉 1, 高橋 遼 1, 小笠原 実希 1, 谷古 健太 1, 門田 剛太郎 1, Sathya Lim1, 岩田 将英 1, 沼口 孝司 1, 石井 尊生 1, 前田 英郎 2, 馬 建鋒 3, 石川 亮 1 (1. 神戸大・院農学, 2. 農研機構, 3. 岡山大・植物研)
- P197 Genomic Loci Underlying Early Developmental Heterosis in Chinese Cabbage (*Brassica rapa* L. subsp. *pekinensis*)**
☆ KISHORE KUMAR SARKER, HASAN MEHRAJ, RYO FUJIMOTO (Graduate School of Agricultural Science, Faculty of Agriculture, Kobe University)
- P198 台中 65 号を 1 回親, Asu を反復親にした BC₁F₁ におけるイネ初期生育雑種強勢の QTL 解析**
☆荻原 周平 1, 仲村 洋輔 1, 一谷 勝之 2, 田浦 悟 3, 久保山 勉 1 (1. 茨城大・院農, 2. 鹿児島大・農学, 3. 鹿児島大・遺伝子実験施設)
- P199 テンサイ親系統の組合せによって異なるヘテロシス程度に関与する成長特性と遺伝的要因の解析**
☆須田 昌義 1, 岩堀 遼馬 1, 廣木 幸太郎 1, 内藤 陽良 1, 松平 洋明 2, 北崎 一義 1 (1. 北海道大学大学院農学研究院 (北大院・農), 2. 農研機構・北海道農業研究センター (北農研))

08. 発生・生理 (Development・Physiology)

P200 microRNA166 の標的配列に変異が入ったイネ *abl2-d* 変異体の解析

☆三上 圭祐 1, 小武海 桃子 2, 千葉 海大 1, 桑村 海羽 2, 永澤 信洋 2, 佐藤 (永澤) 奈美子 2 (1. 秋田県立大・院生物資源科学, 2. 秋田県立大・生物資源科学)

P201 オオムギ茎頂における single-nucleus RNA-seq の実験系開発および 1 細胞解像度 3D イメージング解析

☆武田 良太 1, 井藤 純 1, 野村 有子 1, 佐藤 奈緒 1, 廣田 敦子 2, 林 誠 2, 石 東博 2, 佐々井 洋祐 2, Ping Kao 2, 杉本 慶子 2, 最相 大輔 3, 久野 裕 3, 内野 智樹 4, 那須田 周平 4, 殿崎 薫 1, 木下 哲 1, 天海 花菜 5, 鹿島 誠 5, 辻 寛之 1,6 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 理研・環境資源科学研究センター, 3. 岡山大・植物研, 4. 京都大院・農学, 5. 東邦大・理, 6. 名大・生物センター)

P202 テンサイおよび近縁種における単胚性・多胚性種子形成の形態的特徴づけと制御遺伝子の同定

○久野 あゆみ 1, 高安 佳奈 1, 廣木 幸太郎 1, 成廣 翼 2, 松平 洋明 2, 黒田 洋輔 2, 久保 友彦 1, 北崎 一義 1 (1. 北海道大学大学院農学研究院 (北大院・農), 2. 農研機構・北海道農業研究センター (北農研))

P203 タイムラプス Lasy-Seq によるオオムギ *hy2* 変異体の晩生化に寄与する遺伝子の探索

☆大熊 眞歩 1, 西村 和紗 1, 鹿島 誠 2, 門田 有希 1, 加藤 鎌司 1, 西田 英隆 1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 東邦大・理学部)

P204 オオムギ花序において 1 つの triple spikelet メリステムから 3 つの小穂メリステムが生じる過程の 1 細胞解像度イメージング

☆三石 涼太 1, 井藤 純 1, 野村 有子 1, 武田 良太 1, 辻 寛之 1,2 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 名大・生物センター)

P205 キャッサバの枝分かれ及び花成に関与する遺伝子のゲノム編集による機能解析

○徳永 浩樹 1,2, Quynh Do Thi Nhu 4, 遠藤 真咲 3, Anh Nguyen Hai 4, Ham Le Huy 4, 関 原明 2 (1. 国際農研・熱帯島嶼研究拠点, 2. 理化学研究所・環境資源科学研究センター, 3. 農研機構・生物機能利用研究部門, 4. ベトナム農業遺伝学研究所)

P206 イネの juvenile-to-adult 相転換のタイミングを制御する遺伝子の探索

☆白柿 薫平 1,2, 岡咲 朋美 3, 山本 真璃 3, 手塚 孝弘 1,2, 横井 修司 1,2 (1. 大工大・院農学, 2. 大工大・農学附属研究フィールド, 3. 大阪府大・院生命環境科学)

P207 フツソバ (*Fagopyrum esculentum*) の地域在来種間における日長反応性差異

☆中野 絢菜 1, 水上 優華 1, 根本 花奈美 1, 福島 旭泉 1, 制野 純大 1, 鷲頭 和 1, 原 渚翔 1, 戸田 亮 2, 海津 朋之 2, 中山 輝 2, 大矢 滯 2, 相井 城太郎 1 (1. 新潟薬科大学・応生科, 2. 新潟市・農業活性化研究センター)

09. 増殖・生殖 (Multiplication・Reproduction)

P208 Comparative growth and seed yield of *Lotus* experimental strains under fluorescent and LED lighting conditions

☆Hwan May Ng 1, Hidenori Tanaka 2, Takahiro Gondo 3, Ryo Akashi 4, Masatsugu Hashiguchi 1 (1. Fac. of Regional and Innov., Univ. of Miyazaki, 2. Fac. of Agr., Univ. of Miyazaki, 3. FSRC, Univ. of Miyazaki, 4. Univ. of Miyazaki)

P209 遺伝資源に由来するハウレンソウ XY 株における間性形質の遺伝様式

☆矢島 由創 1, 前田 秀亮 2, 小野寺 康之 3 (1. 北海道大・農学部, 2. 北海道大・農学院, 3. 北海道大・農学研究院)

P210 日本産モウセンゴケ属種の交配により得られた倍数体系統の小型腺毛における細胞形態とフェノール化合物の比較分析

○星 良和 1, 船越 さゆり 2, 寺崎 景吾 2, 加藤 木高広 3 (1. 東海大・農学, 2. 東海大・院・農, 3. 東海大・総農研)

P211 アグロインフィルトレーションを用いた *Nicotiana* 属における雑種致死アレルの保有判定法

○永井 翔大 1,2, 小林 虹作 1, 三野 眞布 1, 田中 良和 3, 中田 康貴 4, 山田 哲也 4, 横井 修司 1,5, 手塚 孝弘 1,5 (1. 大阪公大・院農, 2. 大阪環農水研, 3. 若狭湾エネルギー研究センター, 4. 農工大・院連農, 5. 大阪公大・農学部附属教育研究フィールド)

P212 培地ホルモンを除去して誘導されるチャ (茶樹) 二次胚における転写因子と内生ホルモン

☆見上 心音 1, 平田 洲五 1,2, 山下 寛人 3, 一家 崇志 3, 小嶋 美紀子 4, 竹林 裕美子 4, 榎原 均 4,6, 越水 静 5, 有田 正規 5, 古川 一実 1 (1. 沼津工業高等専門学校, 2. 東京大学大学院農学生命科学研究科, 3. 静岡大学大学院総合科学技術研究科, 4. 理化学研究所, 5. 遺伝学研究所, 6. 名古屋大学大学院生命農学研究科)

P213 シロイヌナズナの受粉反応に関与するカリウムイオン輸送体の解析

☆直江 彩花, 横田 圭馬, 林 真妃, 渡辺 正夫 (東北大・院生命)

P214 アブラナ科植物の自家不和合性を制御する雌しべ乳頭細胞における分子機構の解析

原田 友利香 1, 野澤 彰 2, 澤崎 達也 2, ○林 真妃 1, 渡辺 正夫 1 (1. 東北大・院生命, 2. 愛媛大・プロテオサイエンスセンター)

P215 *Brassica rapa* の種内一側性不和合性を支配する UI 遺伝子領域のゲノム構造解析

○高田 美信 1, 清水 元樹 2, 鈴木 剛 3, 渡辺 正夫 1 (1. 東北大・院生命, 2. 岩手生工研, 3. 大阪教育大)

P216 国内のダイコン F_1 品種にはどの S ハプロタイプが使われているか?

Jie Ji, 加藤 陸, 山下 雅大, YiFei Wang, 宮下 脩平, 山本 雅也, ○北柴 大泰 (東北大学大学院農学研究科)

P217 葯が裂開しない細胞質雄性不稔性イネの種子増殖を目指したオミクス解析

☆高塚 歩 1,2, 風間 智彦 1, 鳥山 欽哉 2 (1. 九州大・院・生物資源環境化学, 2. 東北大・院・農)

P218 *Oryza sativa* と *O. glumaepatula* 間の F_1 不稔遺伝子座 *qSG11* における花粉不稔ならびに種子不稔遺伝子の候補ゲノム領域

☆天野 晴仁 1, 河田 倫典 1, 梅原 彩 1, 安井 秀 2, 山形 悦透 2 (1. 九州大・院・生物資源環境科学府, 2. 九州大・院・農)

P219 台中 65 号・*Oryza glaberrima* (TG) 型細胞質雄性不稔イネの稔性回復遺伝子の探索

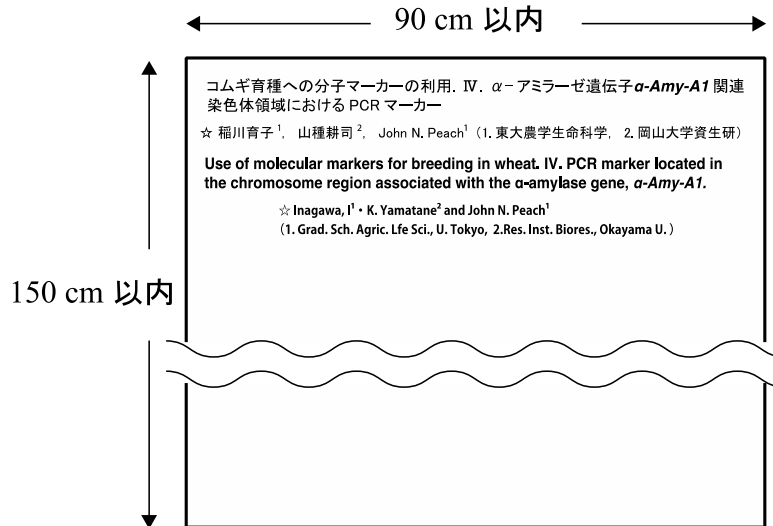
☆鬼木 万由, 山形 悦透, 安井 秀, 風間 智彦 (九州大・農学部)

P220 イネの雑種崩壊遺伝子 *THB1* を含む第 6 染色体上の品質関連形質に関わる QTL 解析

☆若林 妙恵¹, 尾崎 洋人², 加藤 清明¹ (1. 帯広畜産大学, 2. 北海道立総合研究機構上川農業試験場)

ポスター作成要領

1. ポスターは横 90cm×タテ 150cm に収まる大きさで作成してください。
2. ポスターの上部には、オンライン登録と同一の演題名、著者名、所属を 48 ポイント以上の文字サイズを使い、日本語、英語を併記してください。
3. 図表のタイトル、説明文は英語で表記してください。



口頭発表講演方法

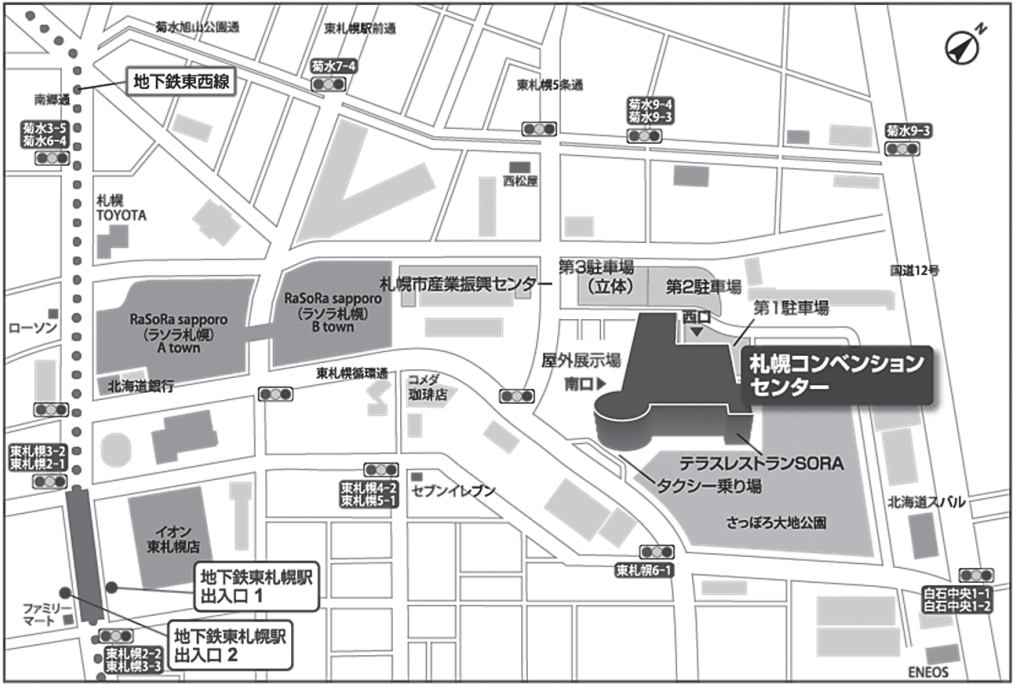
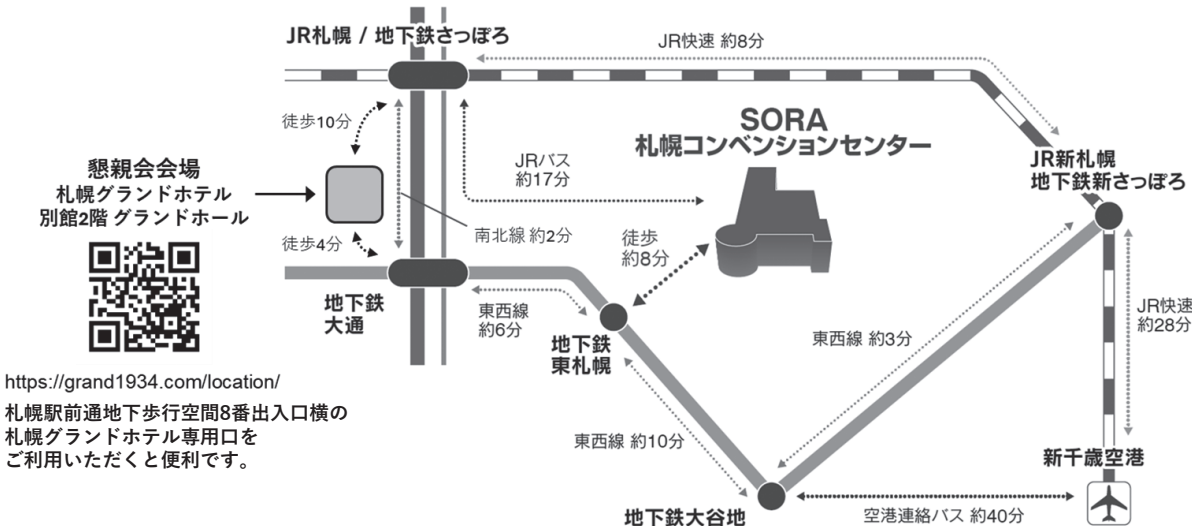
口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。発表者は当日の朝や昼の休憩時間に会場で試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン 1 台をご用意しますので、**データのバックアップを入れた USB メモリを必ずご準備ください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA (1024×768 ピクセル) に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が **HDMI (type-A)** であることを確認してください。この形状と異なる場合や、Mac をご使用になる場合は、変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次々講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。
8. 不慮の事態における予備のパソコンの貸し出しにつきましては会場のスタッフにお申し付けください。

その他、ご不明の点は大会運営委員会（jsb148-secretariat@nacos.com）にお問い合わせください。

講演会場（札幌コンベンションセンター）および懇親会会場へのアクセス



◎札幌都心から

「さっぽろ駅」(JR 札幌駅接続)→ 地下鉄南北線(約 2 分)→「大通駅」→ 地下鉄東西線(約 6 分)→「東札幌駅」→ 徒歩(約 8 分)→ 札幌コンベンションセンター

◎新千歳空港から

札幌駅經由

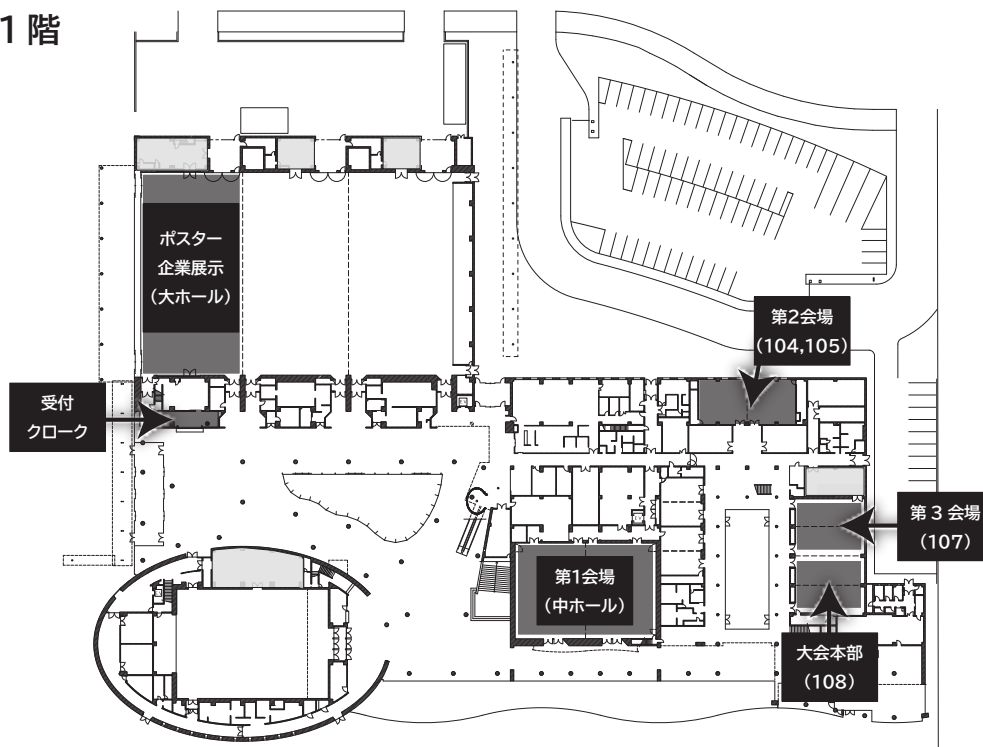
JR「新千歳空港駅」→ JR快速エアポート（約37分）→「さっぽろ駅」（JR札幌駅接続）→ 地下鉄南北線（約2分）→「大通駅」→ 地下鉄東西線（約6分）→「東札幌駅」→ 徒歩（約8分）→ 札幌コンベンションセンター

新札幌駅經由

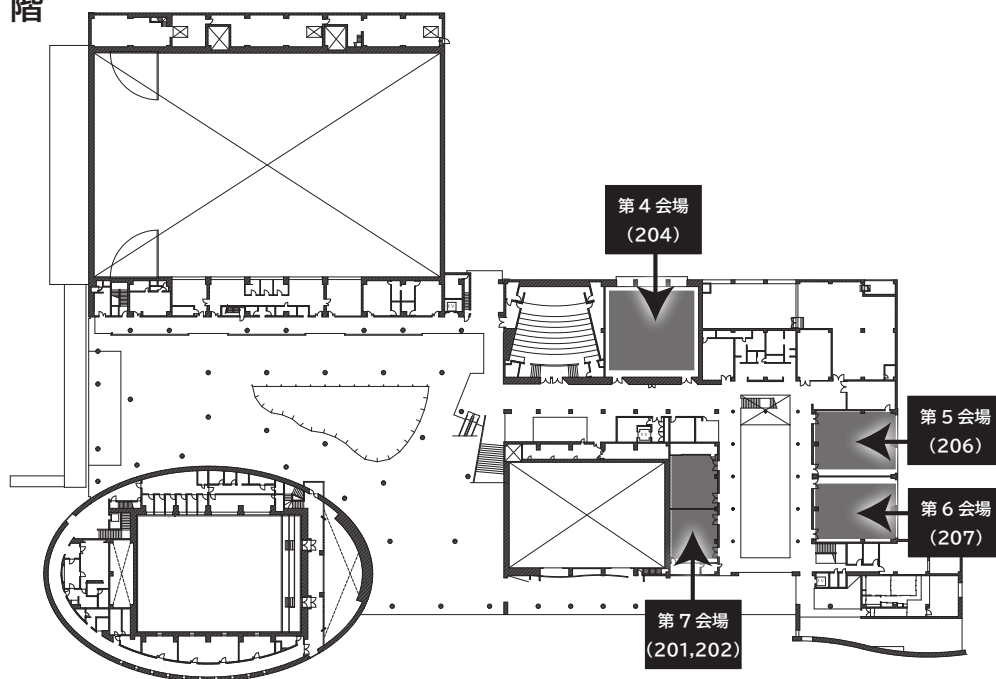
JR「新千歳空港駅」→ JR 快速エアポート（約 30 分）→「新さっぽろ駅」（JR 新札幌駅接続）→ 地下鉄東西線（約 13 分）→「東札幌駅」→ 徒歩（約 8 分）→ 札幌コンベンションセンター

講演会場案内図（札幌コンベンションセンター）

1 階



2 階



- ・期間中,大ホールにて企業展示会(12社)を開催しています.是非,ご来場下さい.
- ・館内にある休憩スペースはご自由にご利用いただけます.また,大ホールの企業展示会場にも休憩用スペースを設けてありますので,こちらもご利用下さい.
- ・昼食は近隣のショッピングモールなどをご利用下さい.1Fにレストラン「SORA」(営業時間 11:00～14:30(LO14:00))もございますが座席数には限りがあります.
- ・館内や各講演会場内にあるゴミ箱はご使用になれません.ゴミなどは各自お持ち帰りいただけますようご協力お願い致します.
- ・企業ランチョンセミナー(9/10),D&Iランチタイムセミナー(9/11)の整理券は,当日午前中に大ホール企業展示会場受付にて配布いたします.

市民公開シンポジウム会場へのアクセス



本シンポジウムは北海道大学大学院農学研究院が実施する「時計台サロン」との共同開催となります。日本育種学会関係者は、wifi接続機器をご持参のうえ、サテライト会場（pool Espresso & Work 北2条西3丁目タケサトビル1階）でご参加ください。

・札幌駅前通及び地下歩行空間の詳細なマップは下記サイトにもあります。こちらをご覧ください。
<https://www.sapporoekimae-management.jp/駅前通について/駅前十街区map/>